

# 2024年3月期 第3四半期決算 投資家向け説明会

2024年2月8日

ソフトバンクグループ株式会社



## 免責事項

本資料は、ソフトバンクグループ株式会社（以下「SBG」）及びその子会社（以下SBGと併せて「当社」）並びに関連会社（以下当社と併せて「当社グループ」）に関する関連情報を提供するものであり、すべての法域において、いかなる証券の購入又は応募の申込みを含む、いかなる投資勧誘を構成又は形成するものではありません。

本資料には、当社グループの推定、予測、目標及び計画を含む当社グループの将来の事業、将来のポジション及び業績に関する記述など当社グループの将来の見通しに関する記述、見解又は意見が含まれています。将来の見通しに関する記述には、特段の限定を付すことなく、「目標とする」、「計画する」、「確信する」、「希望する」、「継続する」、「期待する」、「目的とする」、「意図する」、「だろう」、「かもしれない」、「であるべきである」、「したであろう」、「できた」、「予想する」、「推定する」、「企図する」若しくは類似する内容の用語若しくは言い回し又はその否定形などが含まれています。本資料に記載されている将来の見通しに関する記述は、当社グループが本資料の日付現在において入手可能な情報を踏まえた、当社グループの現在の前提及び見解に基づくものです。これら将来の見通しに関する記述は、当社グループのメンバー又はその経営陣による将来の業績を保証するものではなく、当社グループのビジネスモデルの成功、当社グループの資金調達力及びその資金調達条件の影響、SBGの重要な経営陣に関するリスク、当社グループの投資活動に関する又はこれに影響を与えるリスク、SBファンド（下記で別途定義）並びにその投資、投資家及び投資先に関するリスク、ソフトバンク株式会社及びその事業の成功に関するリスク、法令・規制・制度などに関するリスク、知的財産権に関するリスク、並びに訴訟を含むこれらに限られない既知及び未知のリスク、不確実性その他要因を含み、これらの要因により、実際の当社グループの実績、業績、成果又は財務状態は、将来の見通しに関する記述において明示又は黙示されている将来の実績、業績、成果又は財務状態と著しく異なる可能性があります。当社グループの実績、業績、成果又は財務状態に影響を与える可能性のあるこれら及びその他の要因については、SBGのホームページの「事業等のリスク」([https://group.softbank/ir/investors/management\\_policy/risk\\_factor](https://group.softbank/ir/investors/management_policy/risk_factor)) をご参照下さい。当社グループ及びその経営陣は、これら将来の見通しに関する記述に明示されている予想が正しいものであることを保証するものではなく、実績、業績、成果又は財務状態は、予想と著しく異なる可能性があります。本資料を閲覧する者は、将来の見通しに関する記述に過度に依拠してはなりません。当社は、本資料に記載される将来の見通しに関する記述その他当社が行う将来の見通しに関する記述を更新する義務を負いません。過去の業績は、将来の実績を示すものではなく、本資料に記載される当社グループの実績は、当社グループの将来の実績の予測若しくは予想の指標となるものではなく、又はこれを推定するものでもありません。本資料に記載されている当社グループ以外の企業（SBファンドの投資先を含みますが、これに限られません。）に関わる情報は、公開情報等から引用したものであり、当社は、情報の正確性又は完全性について保証するものではありません。

## 商標について

本資料に記載されている企業、製品及びサービスの名称は、各企業の商標又は登録商標です。

## 重要なお知らせ—SBGの普通株式の取引、スポンサーなしADR（米国預託証券）に関する免責事項

SBGの普通株式の売買を希望する場合には、当該普通株式が上場され、主に取引が行われている東京証券取引所において売買を行うことを推奨します。SBGの開示は、スポンサーなしADR（以下「ADR」）の取引の促進を意図するものではなく、ADRの取引判断を行う際にこれに依拠すべきではありません。SBGは、SBGの普通株式に関するスポンサーなしADRプログラムの設立又はそれに基づき発行されるADRの発行若しくは取引について、過去及び現在において、参加、支援、推奨その他同意を行ったことはありません。SBGは、ADR保有者、銀行又は預託機関に対して、(i)SBGが1934年米国証券取引所法（以下「証券取引所法」）で定めるところの報告義務を負うこと、又は、(ii)SBGのホームページに、SBGが証券取引所法ルール12g3-2(b)に従って証券取引所法に基づくSBGの普通株式の登録の免除を維持するために必要な全ての情報が継続的に掲載されることを表明するものではなく、また、当該者又は機関は、そのように信じてはなりません。適用ある法が許容する最大限の範囲において、SBG及び当社グループは、SBGの普通株式を表象するスポンサーなしADRIに関連して、ADR保有者、銀行、預託機関その他企業又は個人に対するいかなる義務又は責任を否認します。

上記の免責事項は、ソフトバンク株式会社やLINEヤフー株式会社などの、スポンサーなしADRプログラムの対象であるか又は将来対象となる可能性のある当社グループの証券に同様に適用されます。

## 本資料に記載されるファンド情報に関するお知らせ

本資料は、情報提供を目的として提供されるものであり、法律上、税務上、投資上、会計上その他の助言又はSB Global Advisers Limited（以下「SBGA」）、SB Investment Advisers (UK) Limited（以下「SBIA」）及びそれらの関係会社を含むSBGの子会社（以下併せて「SBファンド運用会社」）により運用されるいずれかのファンド（文脈に応じて、パラレル・ファンド、フィーダー・ファンド、共同投資ビークル又はオルタナティブ投資ビークルと併せて「SBファンド」）のリミテッド・パートナーシップ持分又は同等の有限責任持分の販売の申込み又は申込みの勧誘を行うものではなく、また、いかなる方法でもそのように依拠してはなりません。疑義を避けるために付言すると、SBファンドは、他のファンド同様、SBIAとその関係会社によって運用されているSoftBank Vision Fund L.P.（文脈に応じて、あらゆるパラレル・ファンド、フィーダー・ファンド、共同投資ビークル又はオルタナティブ投資ビークルと併せて以下「ビジョン・ファンド1」）、SBGAとその関係会社によって運用されているSoftBank Vision Fund II-2 L.P.（文脈に応じて、あらゆるパラレル・ファンド、フィーダー・ファンド、共同投資ビークル又はオルタナティブ投資ビークルと併せて以下「ビジョン・ファンド2」）及びSBGAとその関係会社によって運用されているSBLA Latin America Fund LLC（文脈に応じて、あらゆるパラレル・ファンド、フィーダー・ファンド、共同投資ビークル又はオルタナティブ投資ビークルと併せて以下「ラテンアメリカ・ファンド」）を含みます。

SBファンド（ビジョン・ファンド1及びビジョン・ファンド2並びにラテンアメリカ・ファンドを含む）、SBファンド運用会社、SBファンド運用会社により運用される後続又は将来のファンド、SBG又はそれぞれの関係会社のいずれも、本資料に記載されている情報の正確性又は完全性について、明示又は黙示であるとかかわらずこれを表明又は保証するものではなく、また、本資料に記載されているパフォーマンスに関する情報はSBファンドその他本資料に言及される企業の過去若しくは将来のパフォーマンス又はSBファンド運用会社により運用される後続ファンド、将来組成されるファンドの将来のパフォーマンスについての確約又は表明として依拠してはなりません。

SBファンドその他本資料に言及される企業のパフォーマンスに関する情報は、背景説明のみを目的として記載されるものであり、関連するSBファンド、本資料に言及されるその他のファンド又はSBファンド運用会社により将来運用されるファンドの将来のパフォーマンスを示すものとして考慮されるべきではありません。SBファンドの特定の投資対象に関する情報への言及は、それに含まれる範囲において、関連するSBファンド運用会社の投資プロセス及び運用方針を説明することのみを目的として述べられたものであり、特定の投資対象又は証券の推奨として解釈してはなりません。SBファンドのパフォーマンスは各個別の投資においてそれぞれ異なる可能性があり、個別に言及した取引のパフォーマンスは、必ずしも全ての適用される従前の投資のパフォーマンスを示唆するものではありません。本資料において記載及び説明される特定の投資は、関連するSBファンド運用会社が行う全ての投資を示すものではなく、本資料において記載及び検討される投資が利益を生んだ又は将来利益を生むと仮定すべきではありません。

本資料に記載されるSBファンドのパフォーマンスは、ポートフォリオ投資の未実現の評価額に基づくものです。未実現の投資評価額は、関連するSBファンド運用会社がそれぞれ特定の投資に関する状況に基づき合理的とみなす前提及び要因（例えば、評価日現在における類似の会社の平均株価収益率その他勘案事項等を含みます。）に基づくものです。しかしながら、未実現の投資評価額が本資料に記載されている金額又は本資料に記載されているリターンを算定するために用いられる金額で実現されるという保証はありません。また、かかる実現に関連する取引費用が未知であるため、当該取引費用は、かかる算定に含まれません。未実現額の見積りは、常に変化する多くの不確定要素の影響を受けます。関連するSBファンドの未実現の投資に対する実際の実現リターンは、いくつかの要因がある中で特に、将来の運用実績、処分時の資産価格及び市況、関連する取引費用並びに売却の時期及び方法によって決まるものであり、これらの要因は全て、関連するSBファンド運用会社の評価の根拠となった前提及び状況と異なる可能性があります。

過去のパフォーマンスは、必ずしも将来の実績を示すものではありません。SBファンド又はSBファンド運用会社により運用される将来のファンドのパフォーマンスは、本資料に示されるパフォーマンス情報よりも大幅に低くなる可能性があります。各SBファンド又は関連するSBファンド運用会社により運用されるいずれか将来のファンドが、本資料に示される実績と同等の実績を達成するという保証はありません。

本資料に記載される第三者のロゴ及びベンダー情報は、説明目的のためにのみ提供されるものです。かかるロゴの記載は、かかる企業又は事業との提携又はその承認を示唆するものではありません。SBファンド運用会社、SBファンドのポートフォリオ会社、SBファンド運用会社により運用される将来のファンドの将来のポートフォリオ会社、又はSBGが、本資料に記載されるロゴを有する企業又は事業のいずれかと今後業務を行うという保証はありません。

SBGA及びSBIAは、ビジョン・ファンド1、ビジョン・ファンド2及びラテンアメリカファンドの運用に関して、相互にSBGからそれぞれ別個独立した業務プロセスを採っています。SBGA又はSBIAによって運用されるSBファンドは、それぞれSBGA単独又はSBIA単独で運用されています。

## 本資料における為替換算レート

(円)

期中平均レート	FY22/Q1	FY22/Q2	FY22/Q3	FY22/Q4	FY23/Q1	FY23/Q2	FY23/Q3	FY23/Q4
1米ドル	129.04	138.68	141.16	133.26	138.11	145.44	147.00	
期末レート	2022/6月末	2022/9月末	2022/12月末	2023/3月末	2023/6月末	2023/9月末	2023/12月末	2024/3月末
1米ドル				133.53			141.83	

## 略称について

本資料では、以下の略称は以下の意味を指す。なお、企業名から「株式会社」や「(株)」を省略している箇所がある。

略称	意味 (傘下子会社がある場合、それを含む)
SBG	ソフトバンクグループ(株) (単体)
当社	ソフトバンクグループ(株)および子会社
SBKK	ソフトバンク(株)
SB Northstar	SB Northstar LP
SVF1 または ソフトバンク・ビジョン・ファンド1	SoftBank Vision Fund L.P. および代替の投資ビークル
SVF2 または ソフトバンク・ビジョン・ファンド2	SoftBank Vision Fund II-2 L.P.
LatAmファンド または ラテンアメリカ・ファンド	SBLA Latin America Fund LLC
SVF	SVF1、SVF2およびLatAmファンド
SBIA	SB Investment Advisers (UK) Limited
SBGA	SB Global Advisers Limited
Arm または アーム	Arm Holdings plcまたはArm Limited*
Sprint	Sprint Corporation
Tモバイル	Sprintと合併後のT-Mobile US, Inc.
ドイツテレコム	Deutsche Telekom AG
アリババ	Alibaba Group Holding Limited

\* 2023年8月にArm Limitedの子会社であったArm Holdings LimitedがArm Limitedの発行済普通株式の全てを取得し、同社を完全子会社化する組織再編が行われた。その後、Arm Holdings Limitedは社名をArm Holdings plcに変更し、2023年9月14日に新規株式公開でNasdaq Global Select Marketへ上場。

## その他

本資料において端数処理の関係上、合計と内訳が一致しない場合がある。

# 財務編

“SBG単体”の財務指標は、別段記載のない限り、連結グループから独立採算子会社を除いた数値を示します。独立採算子会社は、SBKK（LINEヤフーおよびPayPayをはじめとする子会社を含む）、SVF1、SVF2、LatAmファンド、アーム等です。

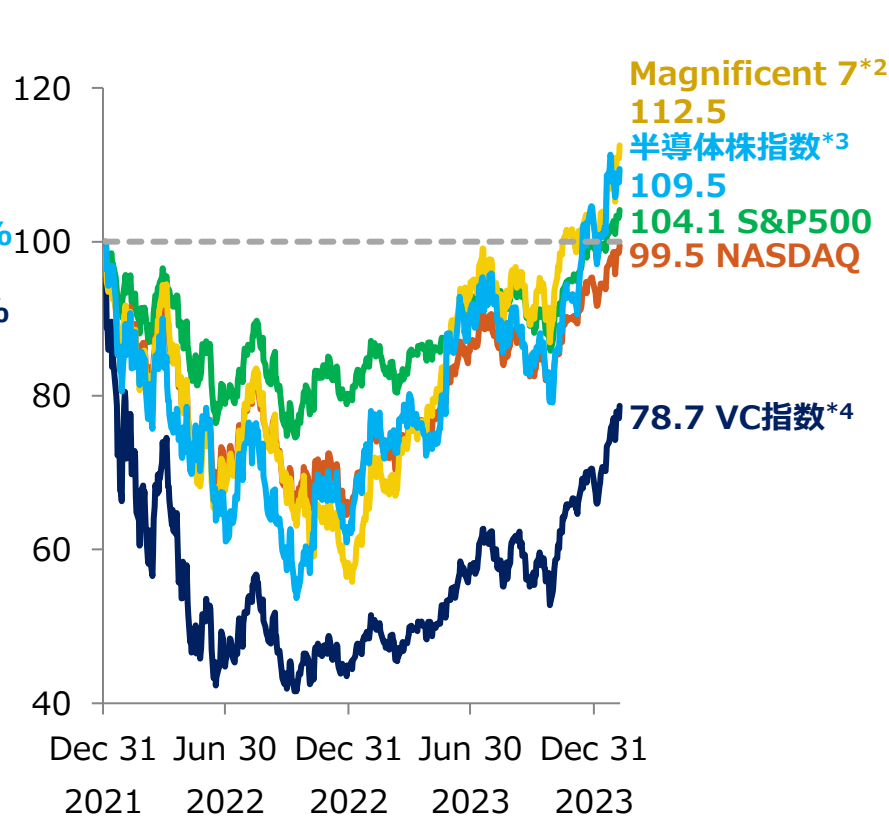
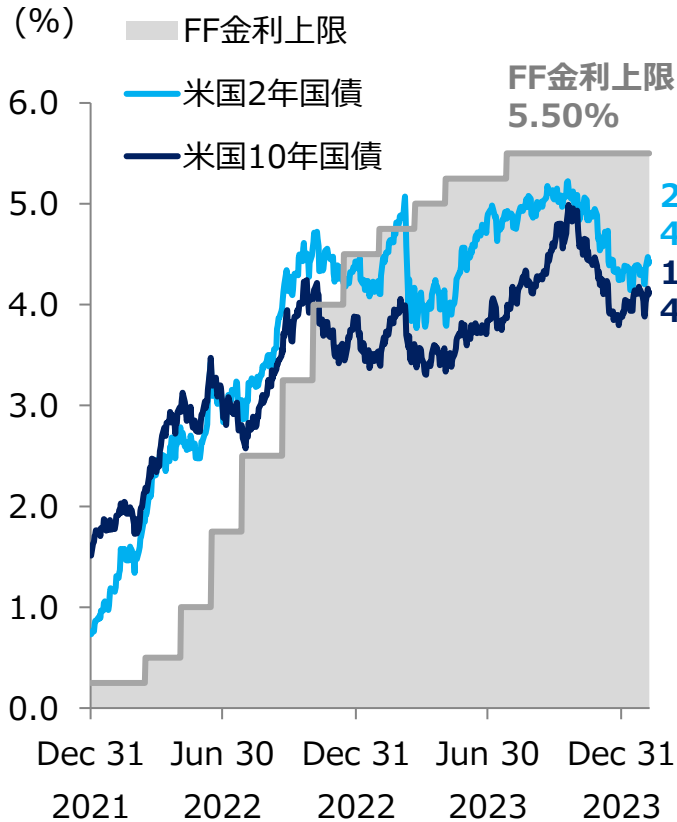
# 環境認識について

## 米金利低下を背景に、株式市場は大型ハイテク株および半導体株を中心に堅調に推移 利上げ局面で軟調であったベンチャーキャピタル指数にも回復がみられる

### 米国金利

### 米国株価\*1

### 為替（ドル円）



(注) Bloombergを基に当社作成。2024年2月7日時点

\*1 2021年12月末を100として指数化

\*2 Magnificent 7: Alphabet、Amazon、Apple、Meta、Microsoft、Nvidia、Tesla。グラフは当該7銘柄の時価総額加重平均

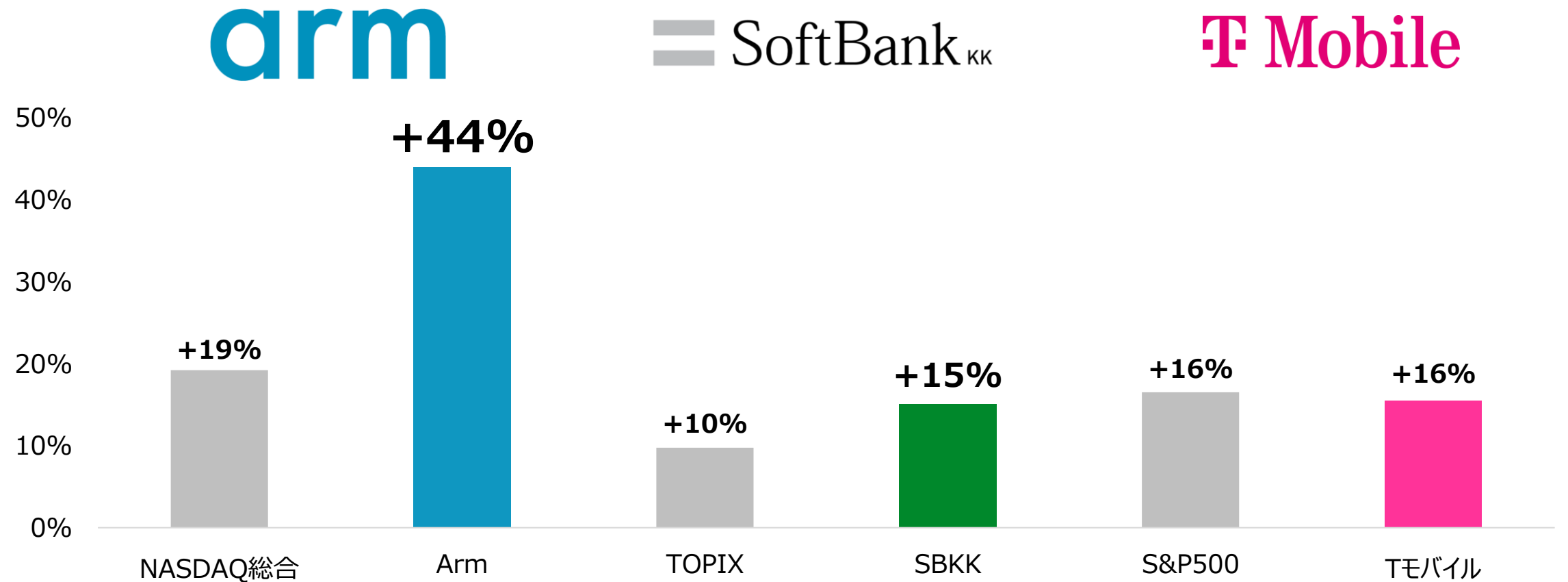
\*3 フィラデルフィア半導体株指数 (SOX)

\*4 Thomson Reuters Venture Capital Index

# 保有株式：株価パフォーマンス

主要銘柄の株価は堅調に推移。Arm・SBKKはベンチマークをアウトパフォーム

## 株価騰落率（2023年10月～）

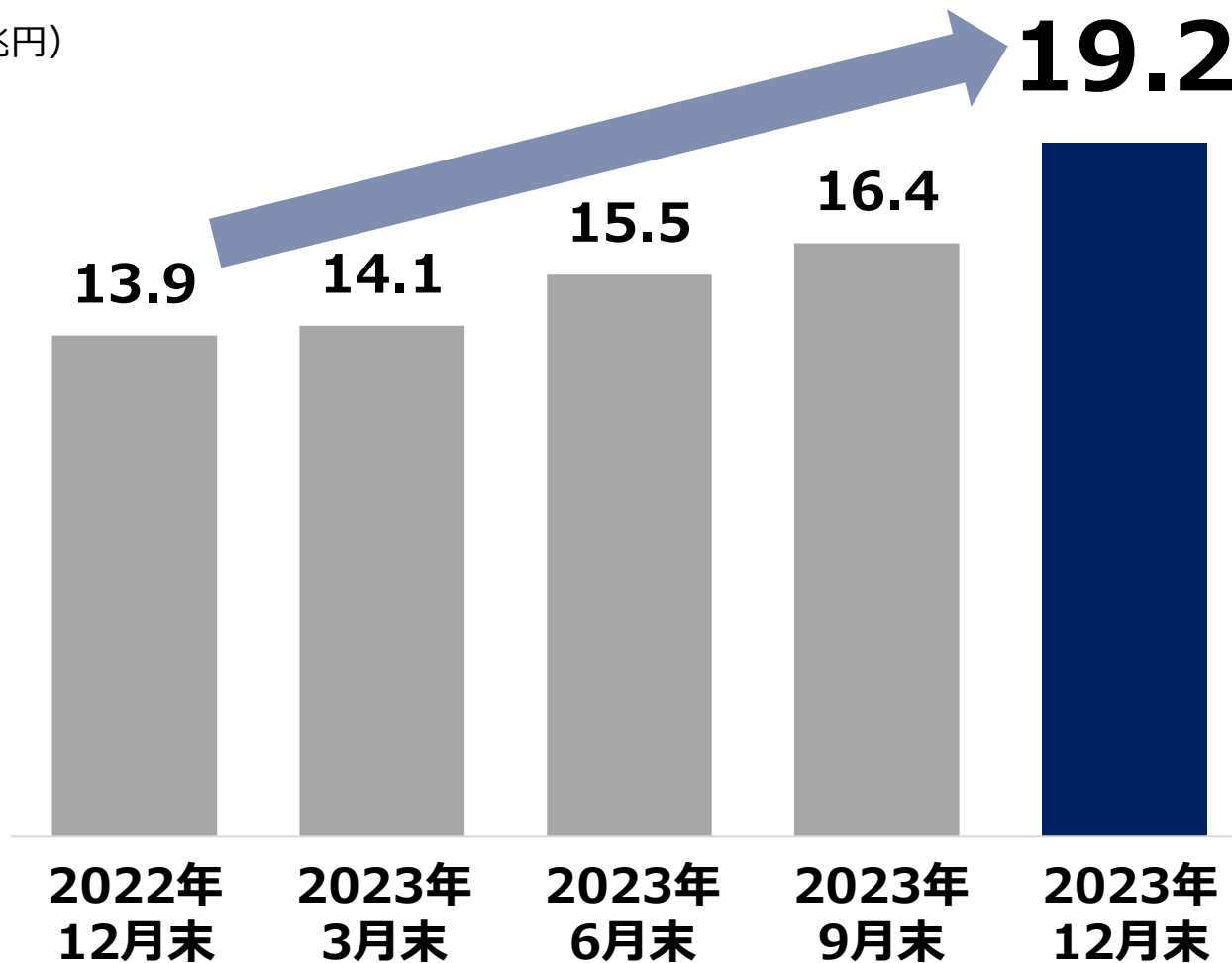


(注) Bloombergを基に当社作成。2024年2月7日時点  
 ・ 2023年9月29日終値と2024年2月7日終値の比較

# NAVの推移

## 4四半期連続でNAV増加

(兆円)



**+5.3兆円増**

(注) NAV (Net Asset Value : 時価純資産) = 調整後SBG単体保有株式価値 - 調整後SBG単体純有利子負債

# FY2023 Q3財務サマリー

## 上場株の好調なパフォーマンスがNAV拡大に寄与。財務安全性に変化なし

<b>NAV・LTV</b>	<p><b>NAV 19.2兆円</b> (前四半期比 +2.8兆円)</p> <p><b>LTV 11.5%</b> (前四半期比 +0.9ポイント)</p> <p><b>純有利子負債 2.5兆円</b> (前四半期比 +0.5兆円)</p> <p><b>手元流動性 4.4兆円<sup>*1</sup></b> (前四半期比 -0.7兆円)</p>
<b>財務活動</b>	<p>主な財務活動なし</p>
<b>投資活動</b>	<p><b>1.1兆円相当のTモバイル株式を無償取得</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>- 条件付対価の条件充足により4,875万株を無償取得 <b>\$7.7B (1.1兆円)</b></li> </ul> <p><b>SVF投資損益は直近3四半期連続の黒字</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>- Q3 SVF投資利益 <b>\$4,087M</b> (Q1: \$1,157M、Q2: \$147M) <sup>*2</sup></li> </ul>

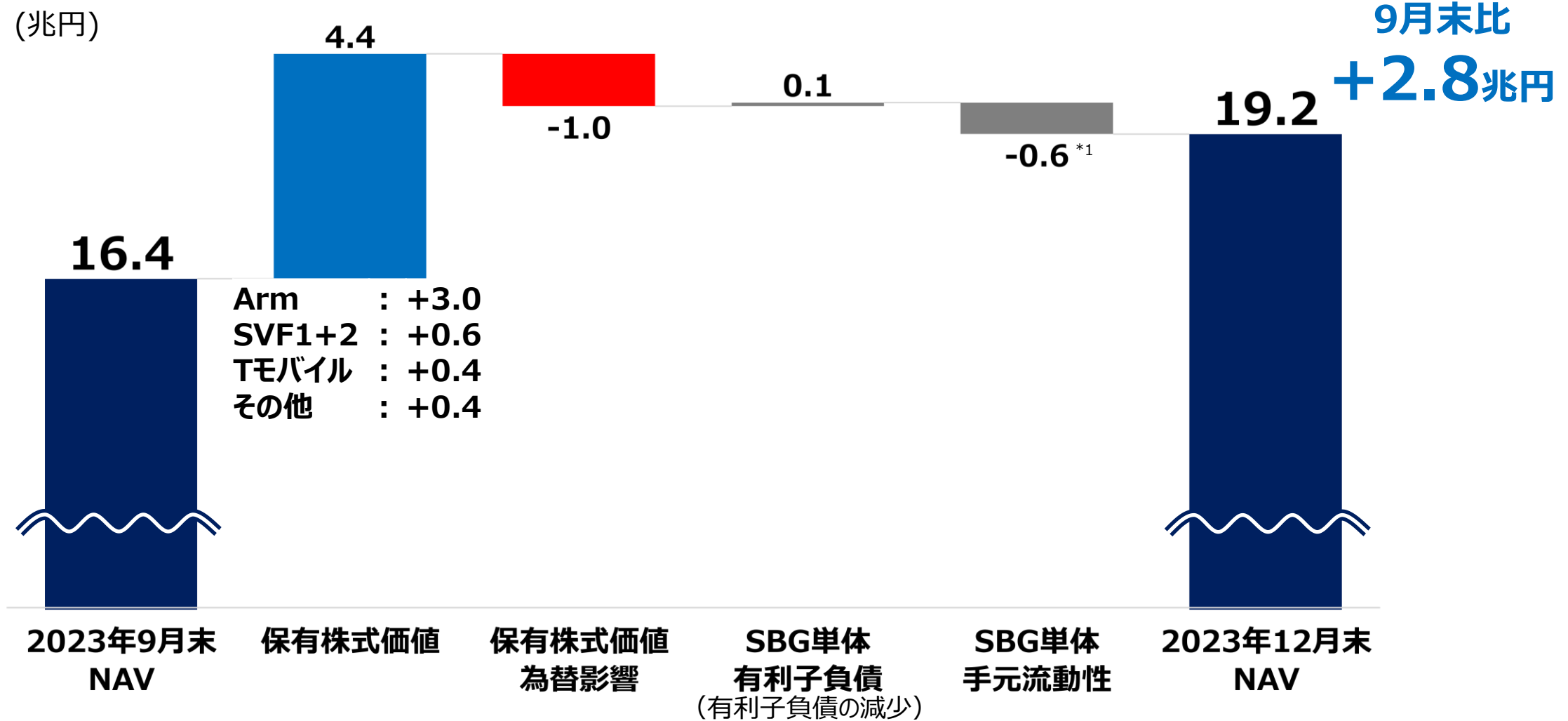
\*1 現金及び現金同等物 + 流動資産に含まれる短期投資 + 債券投資 + コミットメントライン未使用枠。2023年12月末のコミットメントライン未使用枠は7,043億円相当。SBG単体ベース (SB Northstarを除く。ただし現金及び現金同等物ならびに債券投資は含む。)

\*2 SVF事業からの投資利益 (セグメント情報)



# NAV増加要因

上場株を中心として保有株式の価値が増加。純有利子負債は変化なし



(注)

- NAV (Net Asset Value : 時価純資産) = 調整後SBG単体保有株式価値 - 調整後SBG単体純有利子負債
- 2023年9月末時点のNAVには、2023年9月末時点におけるTモバイル株式の条件付対価の公正価値(\$5,666M)が反映されている。
- \*1 SBG単体手元流動性 = 現金及び現金同等物 + 流動資産に含まれる短期投資 + 債券投資。コミットメントライン未使用枠は含まない。

# スプリント投資の実績

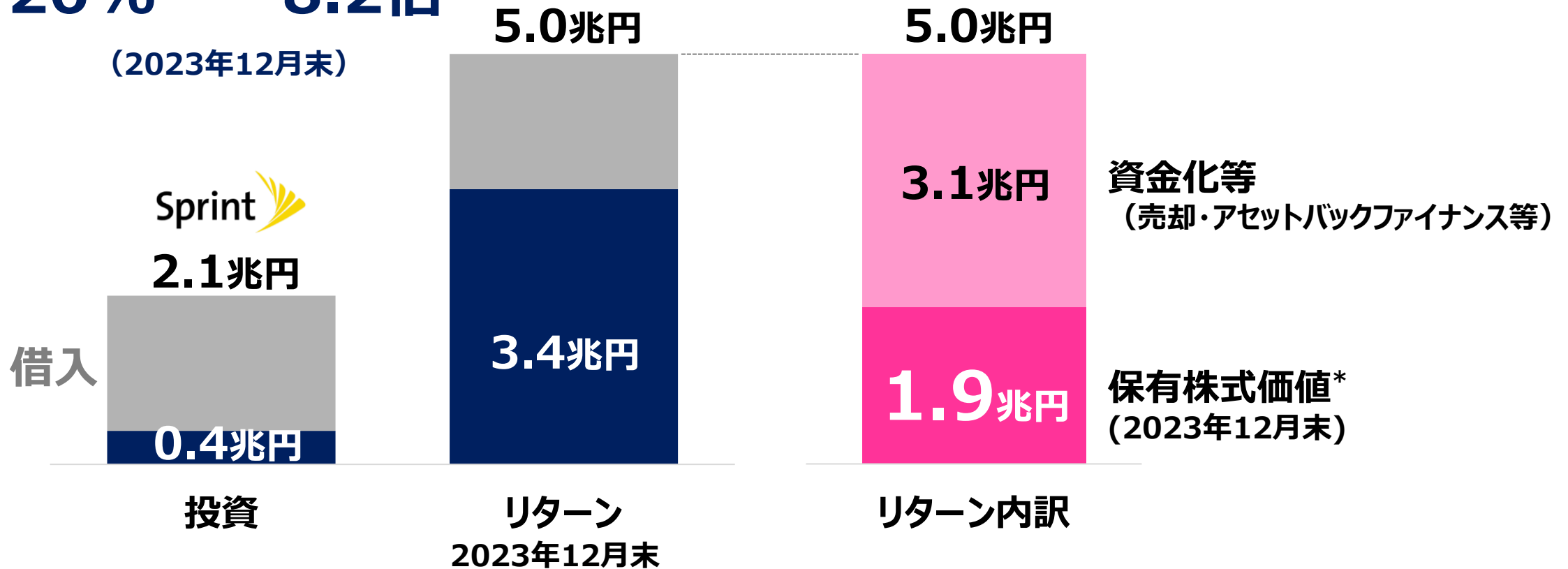
高リターンを達成。1.9兆円相当の株式価値を保有\*

株式IRR  
26%

MOIC  
8.2倍

(2023年12月末)

T Mobile   
(Deutsche Telekom)



(注) 投資およびリターン：各取引日または評価日における為替レートにより円換算。株式IRRおよびMOIC：初回投資実施から2023年12月31日までの株式価値に係る投資およびリターンにより算出。税金考慮前  
借入金：日本円によるSprint買収時の調達額。投資：附随費用を含まない。

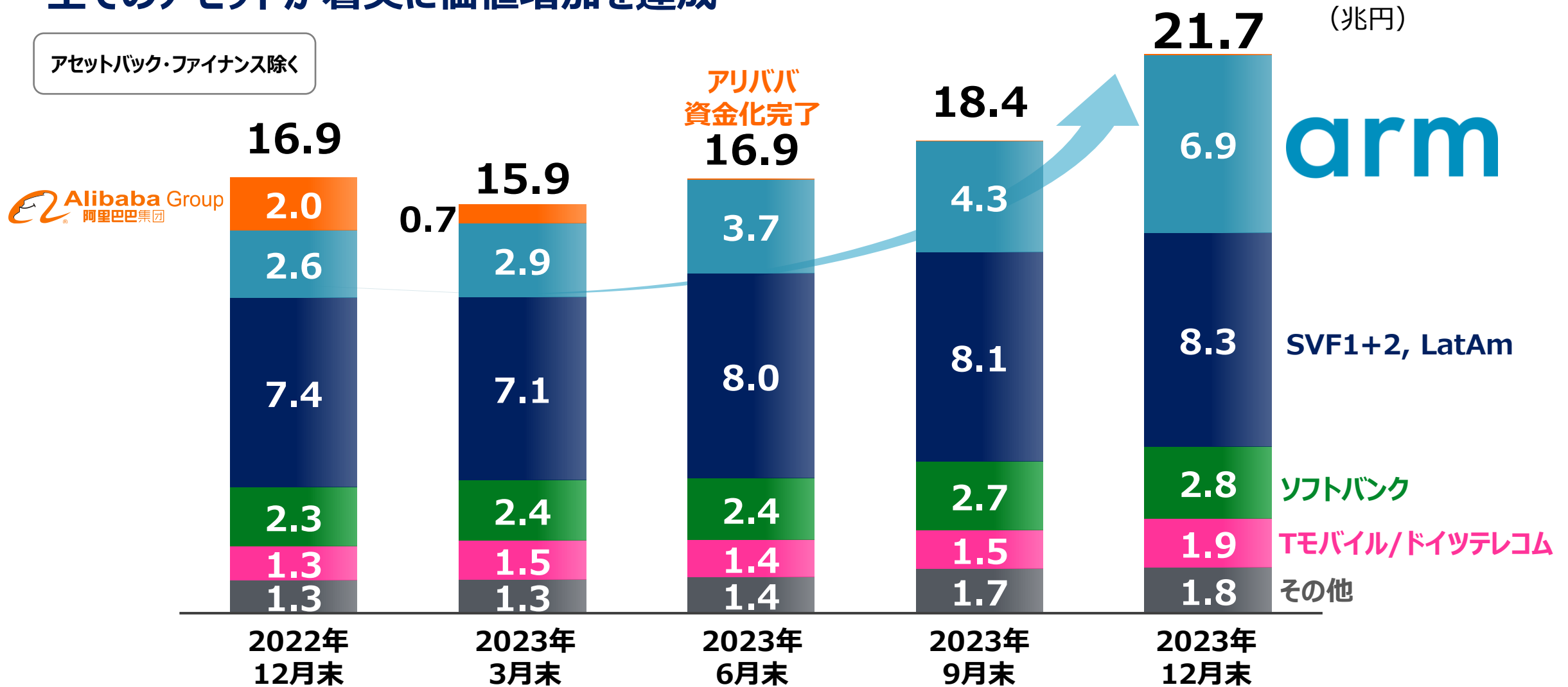
資金化等：Tモバイル株式の売却額+Tモバイル株式及びドイツテレコム株式のデリバティブ取引による資金化済みの金額（取引に係るコストを除く）+ドイツテレコム株式、Tモバイル株式の配当により受領した金額

\* 保有株式価値：2023年12月31日時点におけるTモバイル株式およびドイツテレコム株式の保有株式価値。デリバティブで調達済みの価値を除く。詳細は、Appendix「LTVの算出：SBG単体 保有株式価値」を参照

# 保有株式価値推移 (FY2022 Q3 - FY2023 Q3)

直近1年間でArmの価値は4.3兆円増加。通信セクター株も堅調  
全てのアセットが着実に価値増加を達成

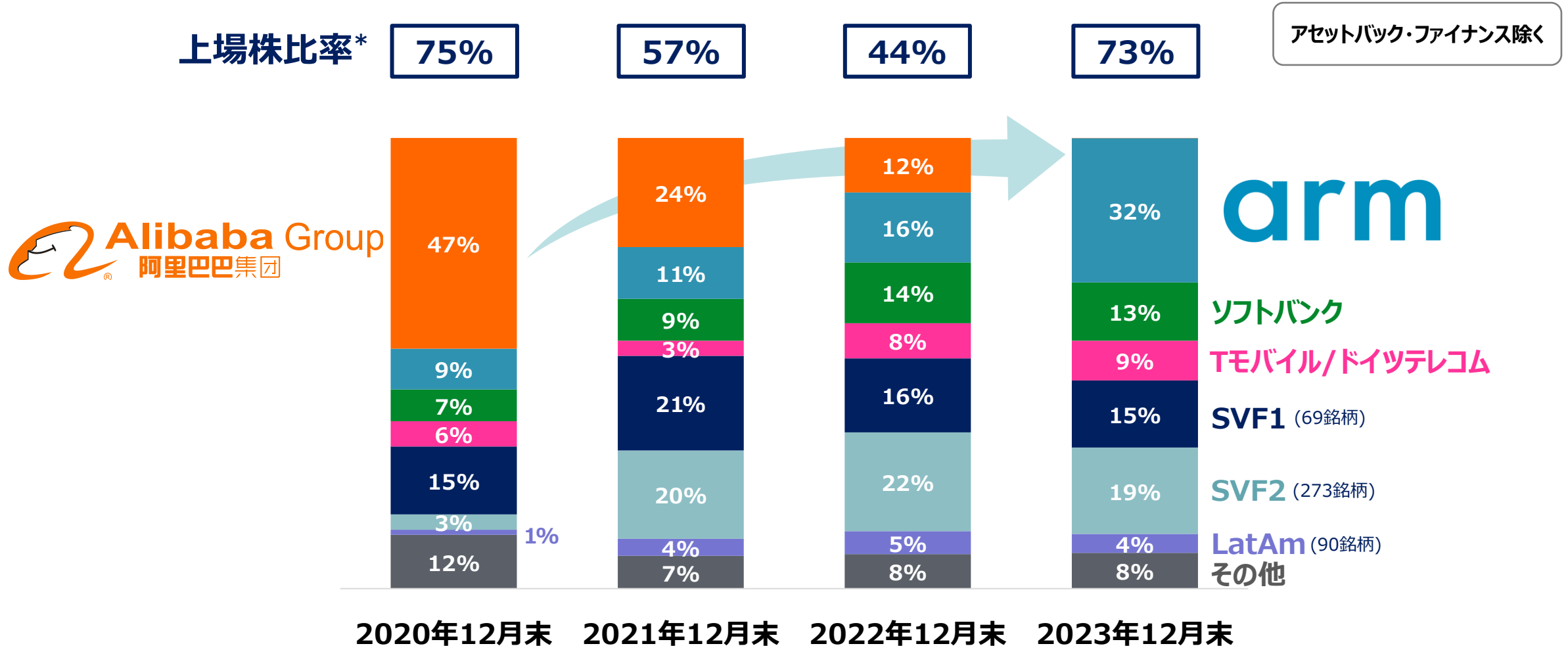
アセットバック・ファイナンス除く



(注) 保有株式価値の詳細は、各四半期決算投資家向け説明会プレゼンテーション資料 財務編Appendixを参照

# ポートフォリオの中核はアリババからArmへ

アリババの資金化とArm価値の増加が寄与  
同時に2020年末比でポートフォリオの分散が進展、地政学リスクも低減



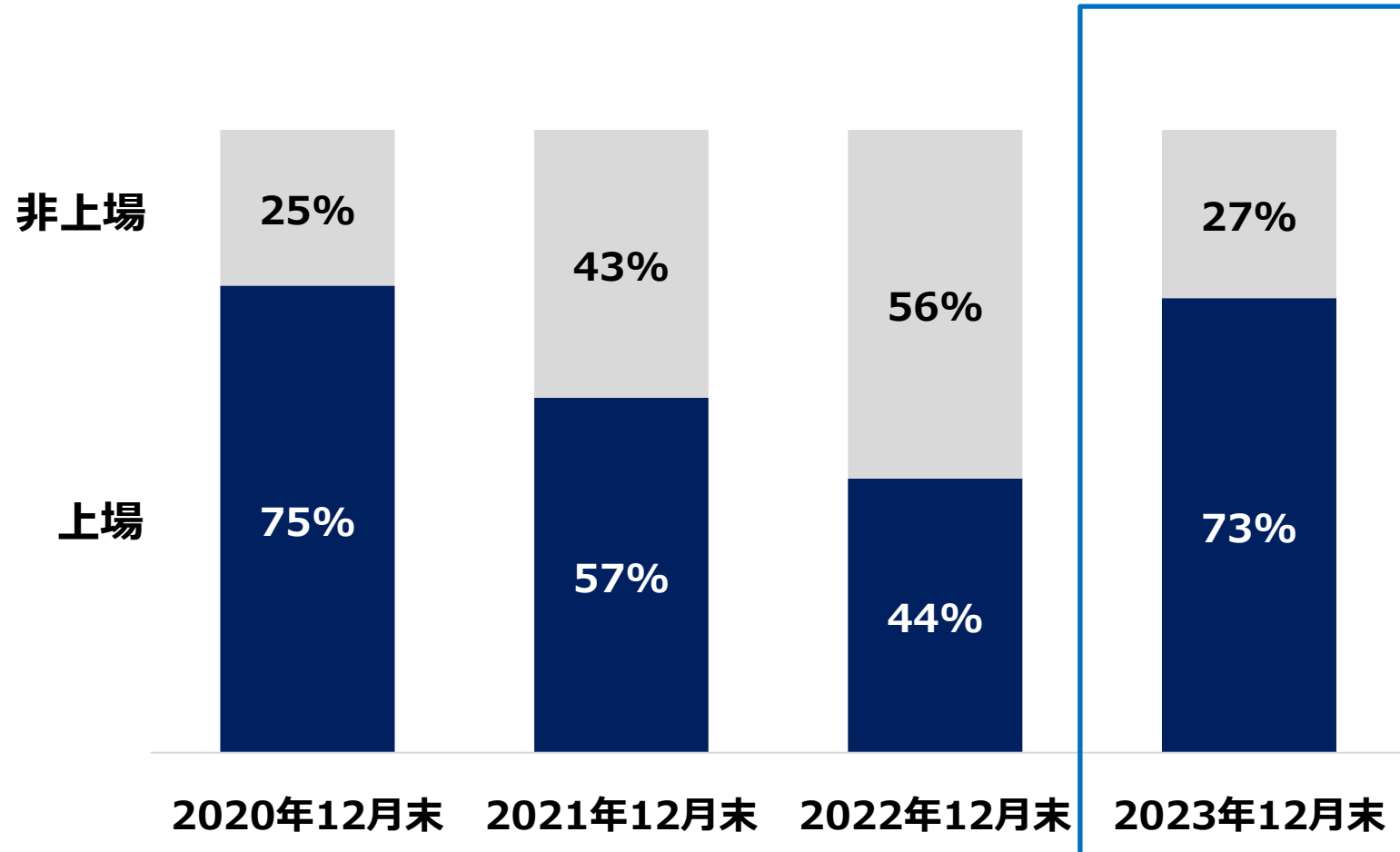
(注) 保有株式価値の各12月末時点の詳細は、各四半期決算投資家向け説明会プレゼンテーション資料 財務編Appendixを参照

\* 上場株比率：アリババ、アーム、ソフトバンク、Tモバイル、ドイツテレコム、SVF1、SVF2およびLatAmファンドが保有する上場株式、およびその他のうちの上場株式を含む。2023年12月末はアーム含む。  
(ただし、SVF1、SVF2およびLatAmファンドはSBGの持分のみを含む)

# 上場株比率

2023年9月のアーム上場により上場株比率は大幅に回復  
 ポートフォリオの流動性はきわめて高い状況

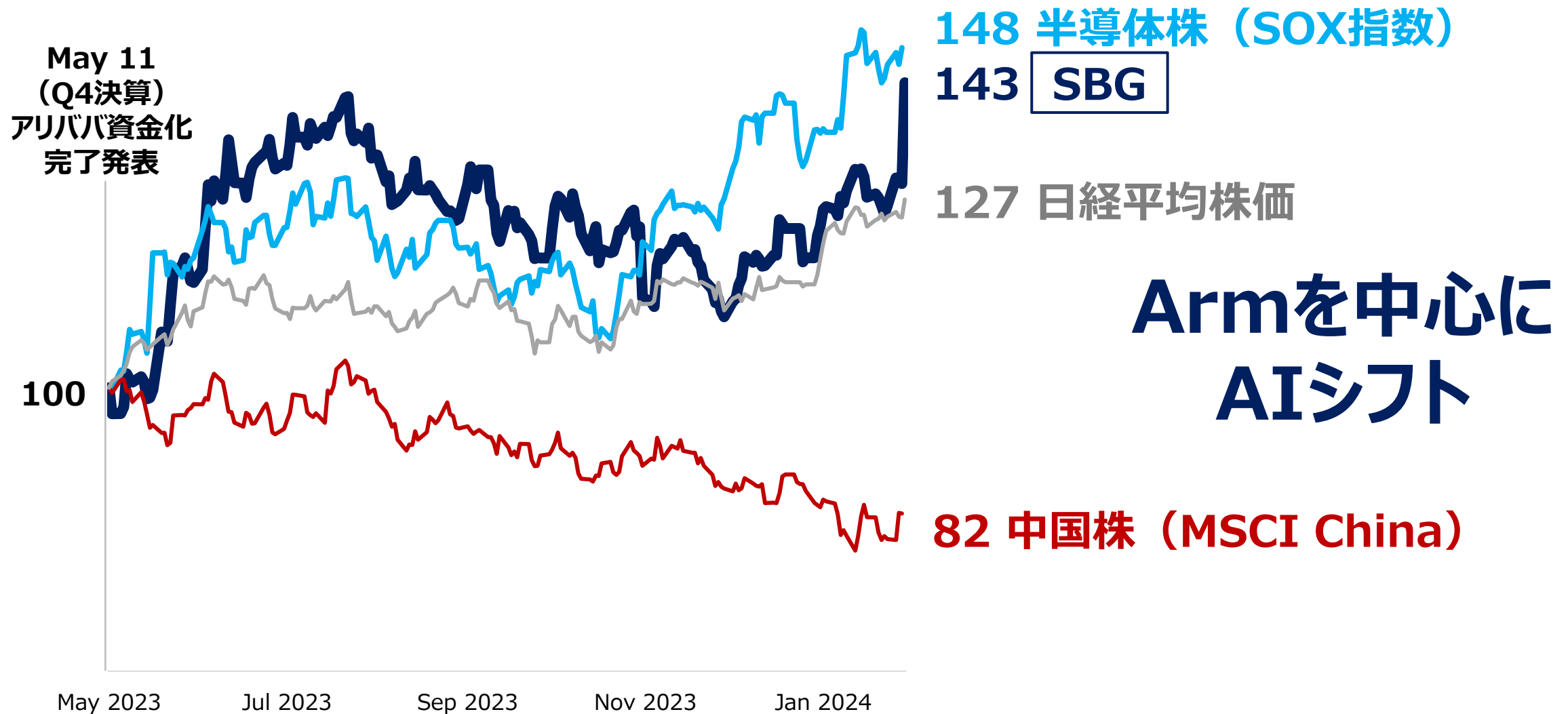
アセットバック・ファイナンス除く



\* 上場株比率：アリババ、アーム、ソフトバンク、Tモバイル、ドイツテレコム、SVF1、SVF2およびLatAmファンドが保有する上場株式、およびその他のうちの上場株式を含む。2023年12月末はアーム含む。  
 (ただし、SVF1、SVF2およびLatAmファンドはSBGの持分のみを含む)

# SBG株価推移

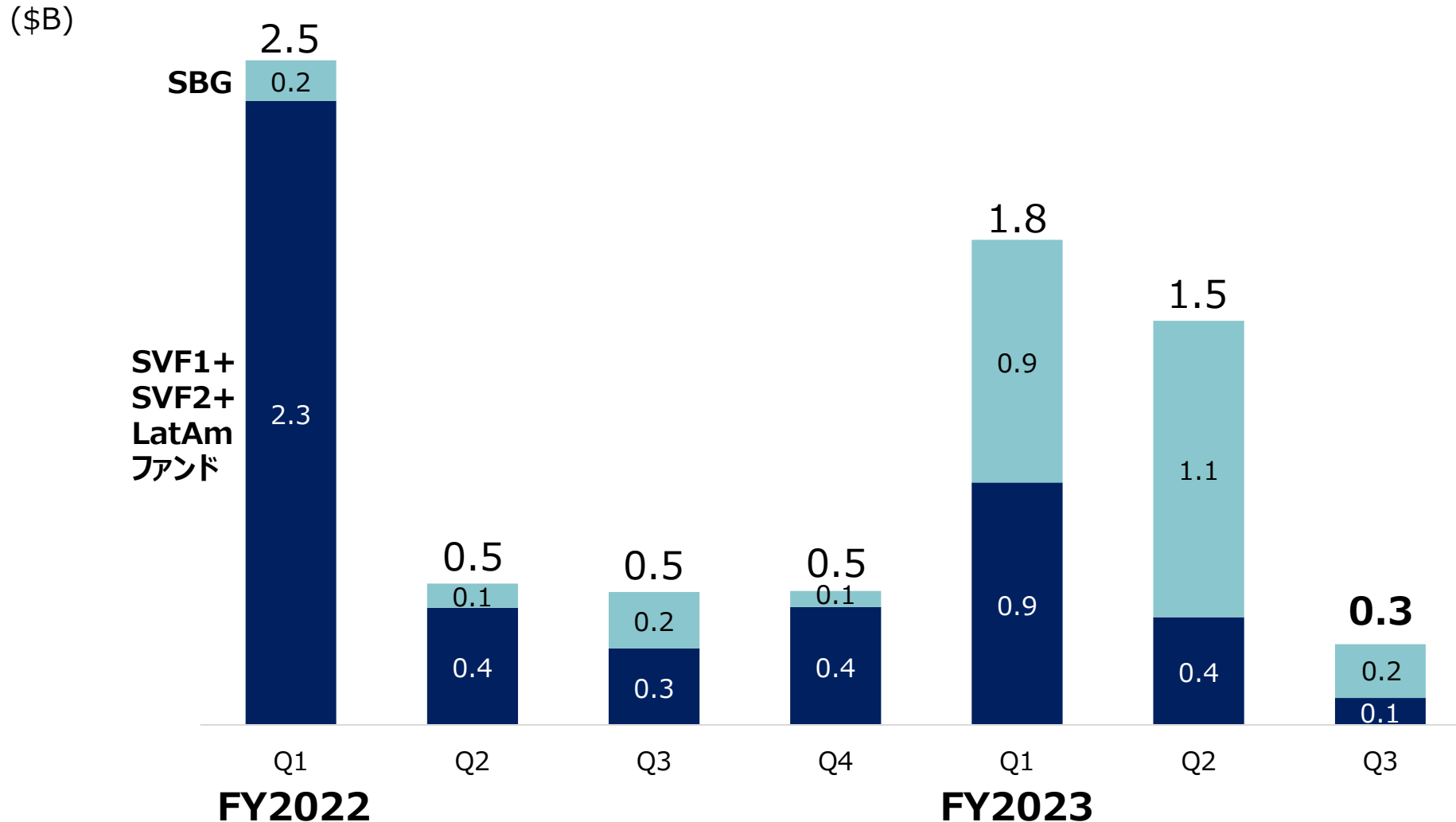
## 中国関連銘柄から半導体・AI銘柄へ



(注) Bloombergを基に当社作成。SBGおよび日経平均株価は2024年2月8日時点、半導体株 (SOX指数) および中国株 (MSCI China) は2024年2月7日時点\*2023年5月11日終値を100として指数化

# 投資額の推移 (SVF1+SVF2+LatAmファンド+SBG)

## 投資は再開、優良案件発掘に注力



(注) SBG投資額：SBGおよび主な100%子会社からの投資額（米国債への投資を除く）+ Berkshire Grey（2023年7月）およびBalyo（2023年10月）の子会社化に伴う外部株主への支出額と両社が保有していた現金及び現金同等物との差額。グループ内取引に伴う投資額を除く。  
 SVF投資額：新規および既存投資先への追加投資の合計。株式交換を含む。SBGからSVFへの移管に伴う投資額を除く。

# 手元流動性と今後の社債償還

## 社債償還2年分を大幅に超える潤沢な手元流動性を確保

### 手元流動性

### 社債償還スケジュール

4.4兆円\*1

7,043

コミットメントライン未使用枠\*2

37,424

Dec 2023

### 今後2年間の社債償還（1.9兆円）

10,362

Jan 2024  
- Dec 2024

1年後

8,856

Jan 2025  
- Dec 2025

2年後

12,048

Jan 2026  
- Dec 2026

3年後

5,280

Jan 2027  
- Dec 2027

4年後

(億円)

\*1 現金及び現金同等物 + 流動資産に含まれる短期投資 + 債券投資 + コミットメントライン未使用枠。SBG単体ベース（SB Northstarを除く。ただし現金及び現金同等物ならびに債券投資は含む。）

\*2 2023年12月末時点のコミットメントライン枠7,043億円相当は全額未使用

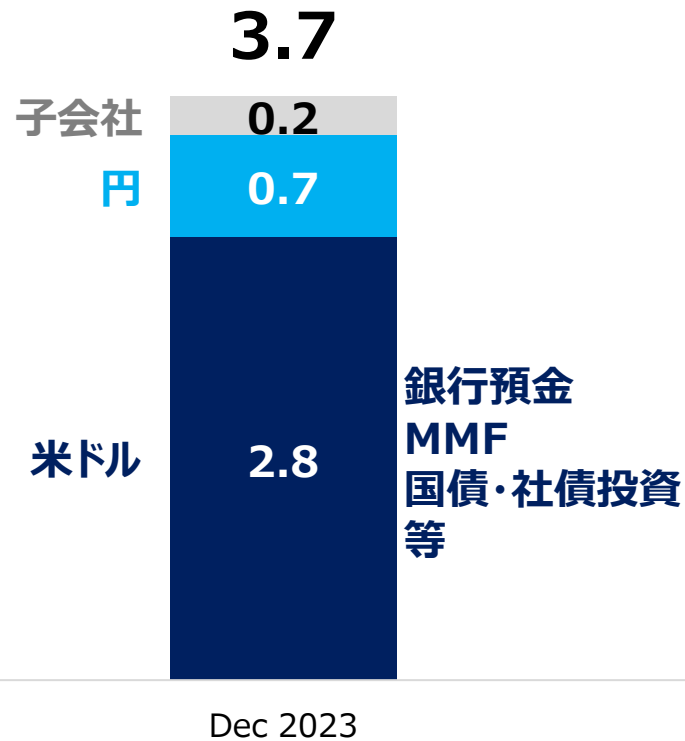


# 手元流動性の通貨内訳と利回り

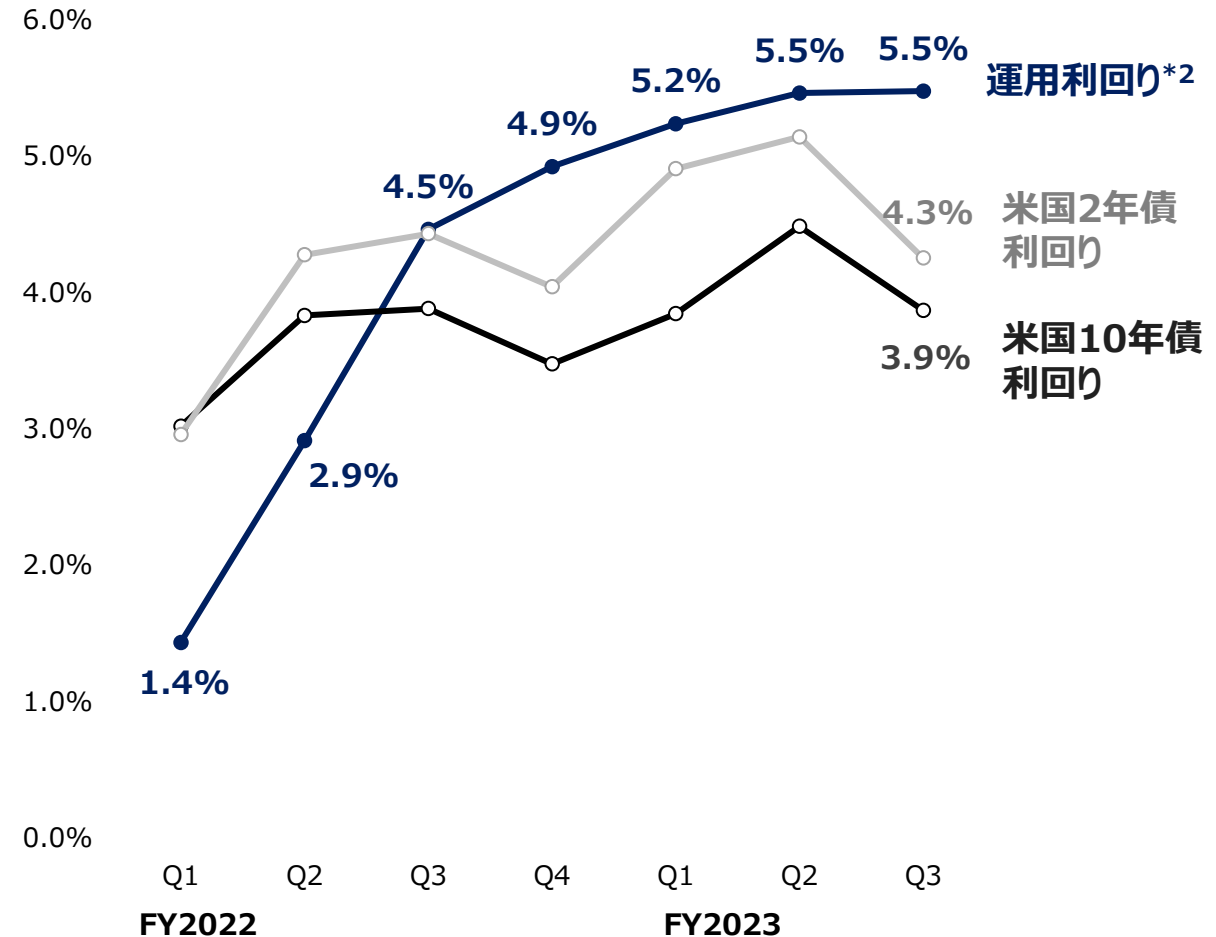
主に米ドル預金で高利回りの運用を継続。効率的な運用により利回りを確保

## 手元流動性の内訳\*1

(兆円)



## 当社米ドル預金等の利回り



\*1 手元流動性 = 現金及び現金同等物 + 流動資産に含まれる短期投資 + 債券投資。SBG単体ベース (SB Northstarを除く。ただし現金及び現金同等物ならびに債券投資は含む。)

\*2 四半期平均

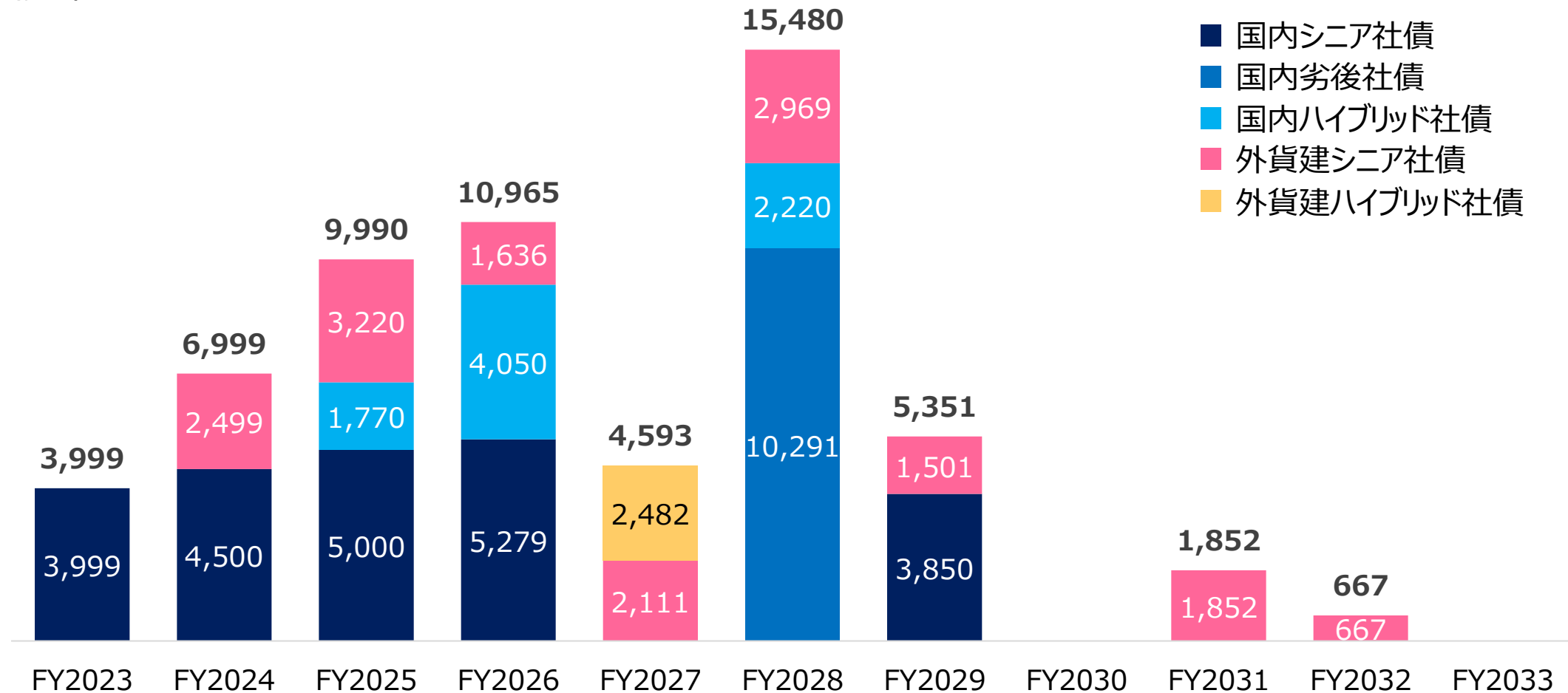
## 円高ドル安はNAVにネガティブに影響、一方連結純利益にはポジティブに影響

	FY22 Q4	FY23 Q1	FY23 Q2	FY23 Q3
前四半期からの 為替変動 (ドル円の変動)	 1円円安 (0.6%)	 11円円安 (8.6%)	 5円円安 (3.2%)	 8円円高 (5.2%)
NAVへの影響 (兆円)	 +0.1	 +1.3	 +0.6	 -1.1
連結純利益 への影響 (兆円)	 -0.0	 -0.5	 -0.2	 +0.3

# 社債償還スケジュール

## 手元流動性および市場環境を考慮した起債運営を実施

(億円)



- 2023年12月末時点発行残高。パイバックにより取得した社債を除く。
- ハイブリッド社債は、すべて初回コール日に早期償還するケース
- 外貨建社債は、スワップを締結しているものはスワップレートにて換算、それ以外は1ドル=141.83円、1ユーロ=157.12円にて換算

# FY2023 調達・運用方針

**調達：リファイナンスベースでの調達が中心に**

**余資運用：運用の多様化に取り組み**

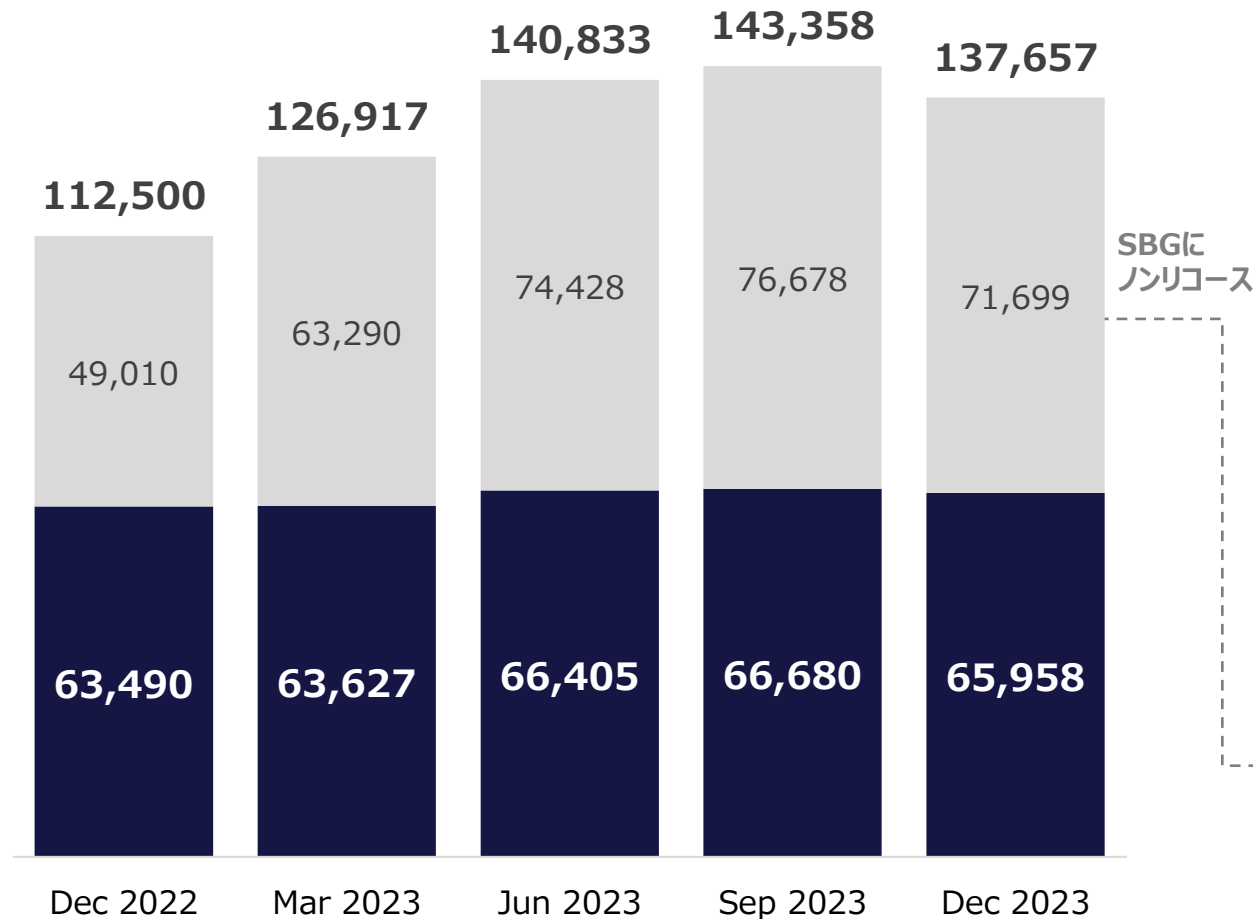
<b>調達</b>	<b>社債</b>	<p><b>FY2023は主にリファイナンスを想定</b>            国内：2024年3月約4,000億円の償還            &lt;参考&gt; FY2024の償還</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>国内：4,500億円（6月）</li> <li>海外：\$1.9B相当のドル・ユーロシニア債</li> </ul>
	<b>アセットバック・ファイナンス</b>	<p><b>豊富なアセット（上場株13兆円*）を活用した調達の多様化を常に検討</b>            保有株式の上場・価値拡大により、調達余力も増大</p>
<b>余資運用</b>		<p><b>米ドル預金等で運用</b>            信用力の高い複数の金融機関に分散            MMFや国債・社債など運用の多様化に引き続き取り組む</p>

\* アーム、ソフトバンク、Tモバイル、ドイツテレコム、アリババを含む。アセットバック・ファイナンスを除く。アームの取引対価未払金控除前。

# SBG単体 有利子負債\*1

## 主に株式先渡契約金融負債の減少により、ノンリコース分を含む有利子負債は減少

(億円)



### 2023年9月末からの主な変動要因

- 株式先渡契約金融負債の減少 -4,279億円\*2
  - 株式先渡契約金融負債に係る為替影響 -2,683億円
  - 現物決済 -1,809億円 (アリババ)

### 2023年12月末 内訳

(億円)

SBG 借入金	対9月末	
銀行借入	3,112	-137
ハイブリッドローン	1,351	+2
その他	0	-
小計	4,464	-136
<b>SBG 社債・CP</b>		
国内シニア債	22,548	+10
国内劣後債	10,185	+5
国内ハイブリッド債	7,920	+1
外債	18,368	-580
CP	1,830	-5
小計	60,850	-568
<b>SBG リース負債</b>	97	-3
<b>子会社 有利子負債</b>		
株式先渡契約金融負債	50,004	-4,279
ドイツテレコム株式を活用したカラー取引	4,769	-47
ソフトバンク株式を活用したマージンローン	4,984	+3
アーム株式を活用したマージンローン	11,941	-657
その他	547	-14
小計	72,245	-4,994
<b>合計</b>	<b>137,657</b>	<b>-5,701</b>

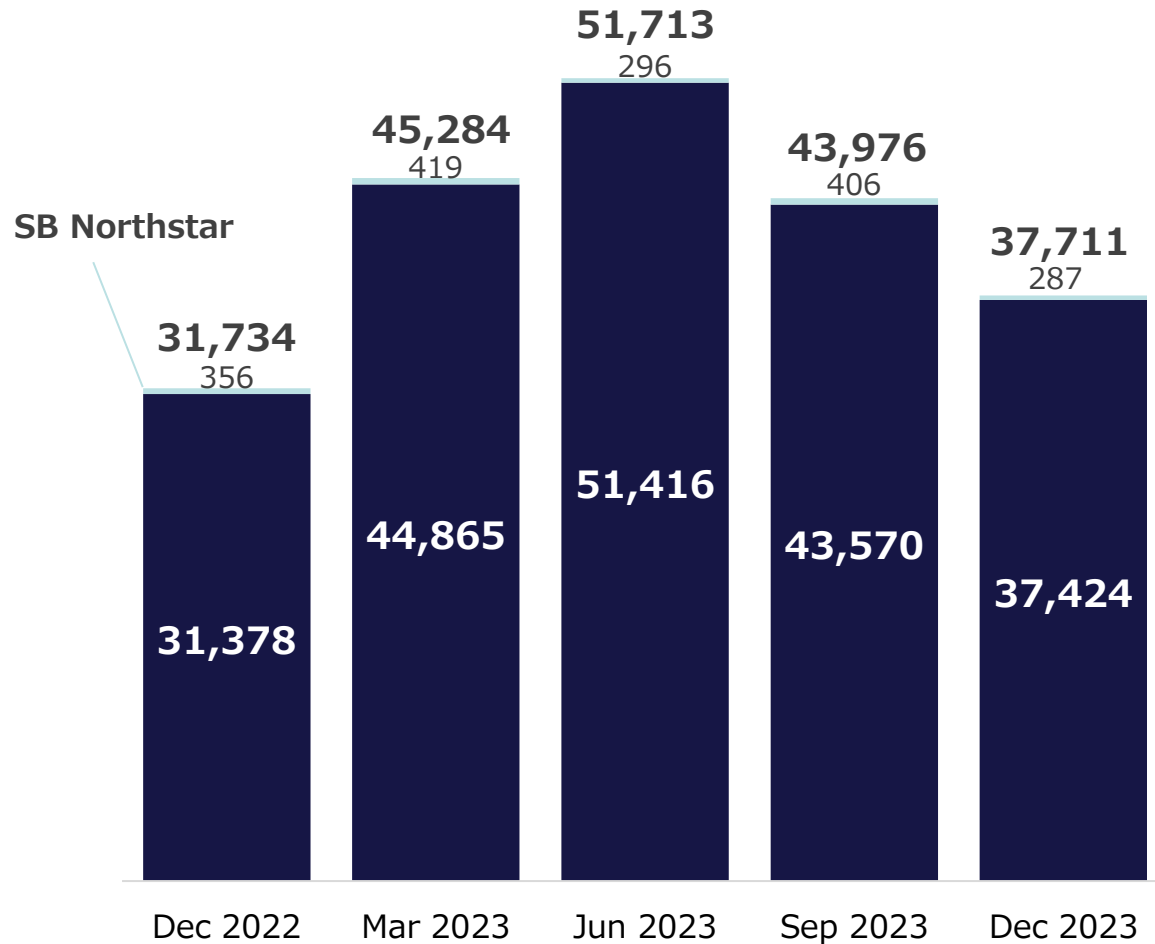
\*1 SBG連結外部に対する有利子負債およびリース負債の合計

\*2 内訳は主要な変動要因のみ。為替影響は概算値

# SBG単体 手元流動性

## 潤沢な手元流動性を維持

(億円)



2023年9月末からの主な変動要因	
増加	減少
<ul style="list-style-type: none"> <li>・SVF2、LatAm分配金 (+\$0.2B)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・SVF2への拠出金 (-\$1.7B) *1</li> <li>・税金等 (-1,498億円)</li> <li>・米ドル預金為替影響 (-1,459億円) *2</li> </ul>

(注) 手元流動性 = 現金及び現金同等物 + 流動資産に含まれる短期投資(資産運用子会社からの投資等) + 債券投資。SBG単体ベース

・ 2023年9月末より、SBG単体手元流動性にSB Northstarの債券投資を含む

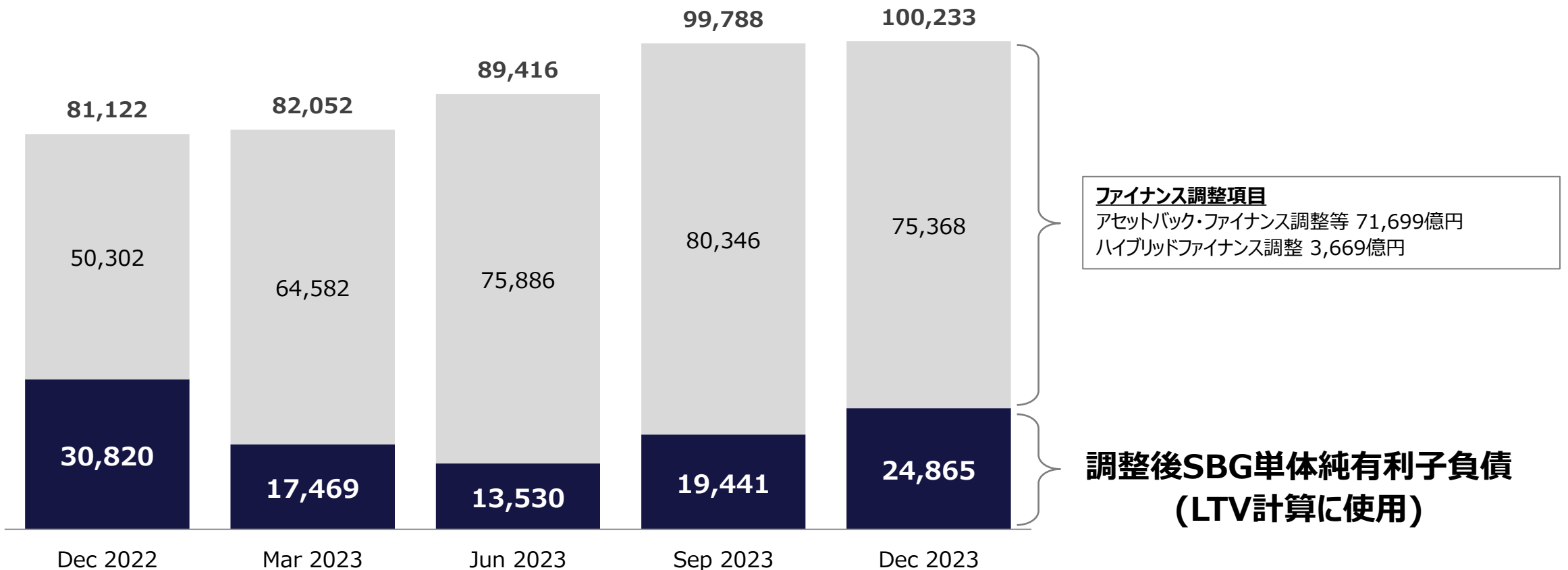
\*1 SVF2への拠出金のうち-\$1.5Bが現金担保差入れのためのWeWork関連の拠出、-\$0.2Bが投資資金の拠出

\*2 2023年12月末時点の米ドル預金に対する為替レートの変動 (概算値)

# SBG単体 純有利子負債

## 調整後純有利子負債は増加も低水準を維持

(億円)

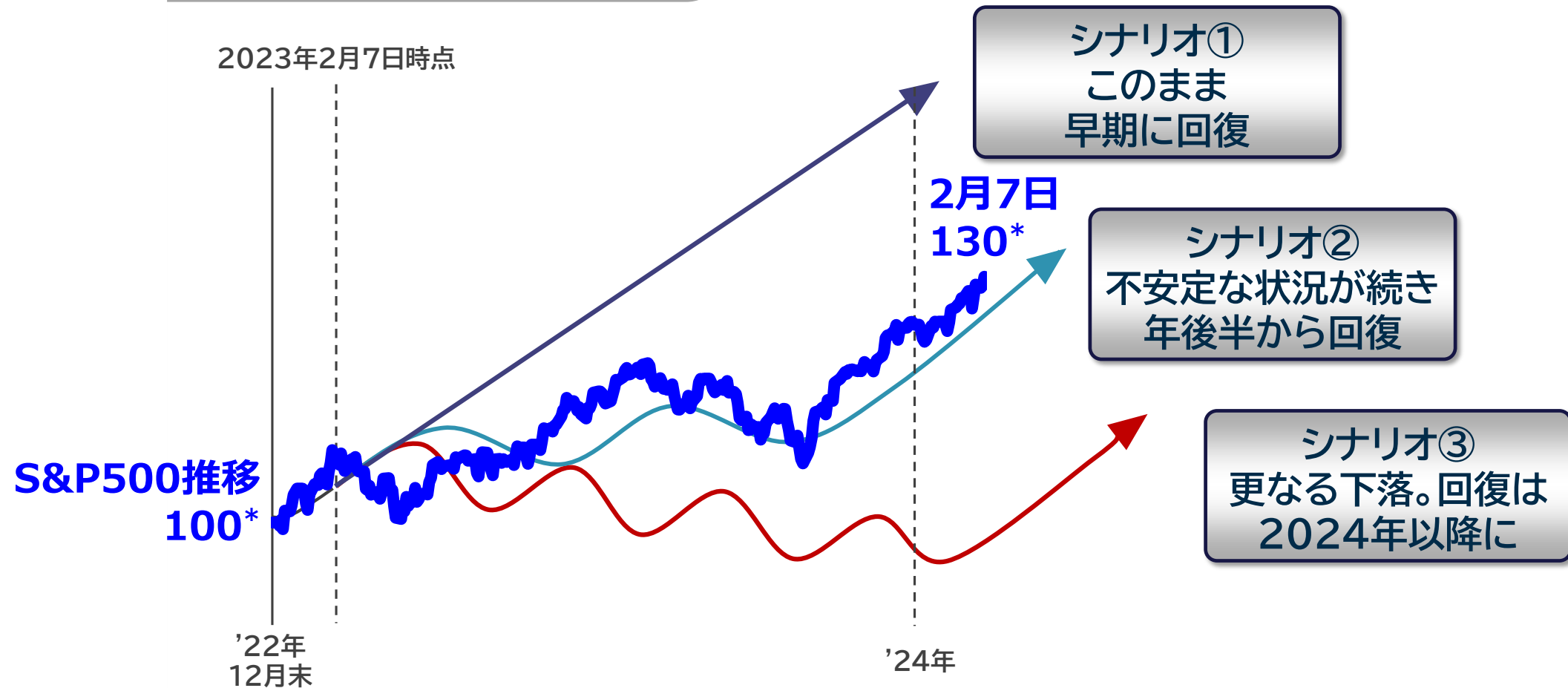


(注) 詳細は、Appendix「LTVの算出：SBG単体 純有利子負債」を参照

# 2023年財務方針：あらゆる市場動向を想定

2023年3月期第3四半期決算説明会（2023年2月7日） 15ページにS&P500の推移をプロット（2022年12月末以降）

## 今後の市場動向



本スライドはイメージ 15

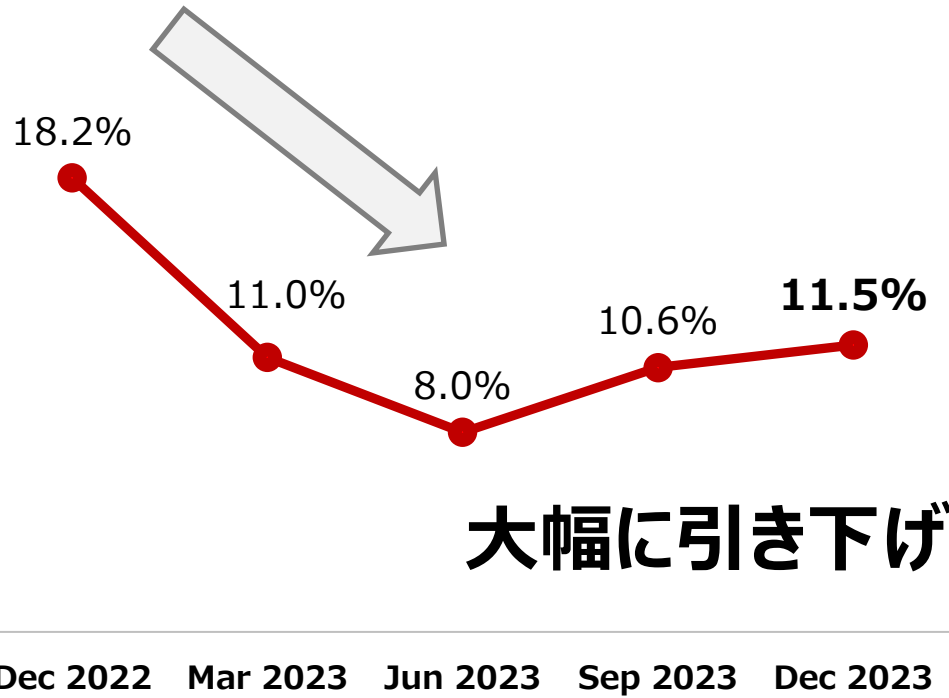
(注) Bloombergを基に当社作成。2024年2月7日時点  
\*2022年12月末を100として指数化



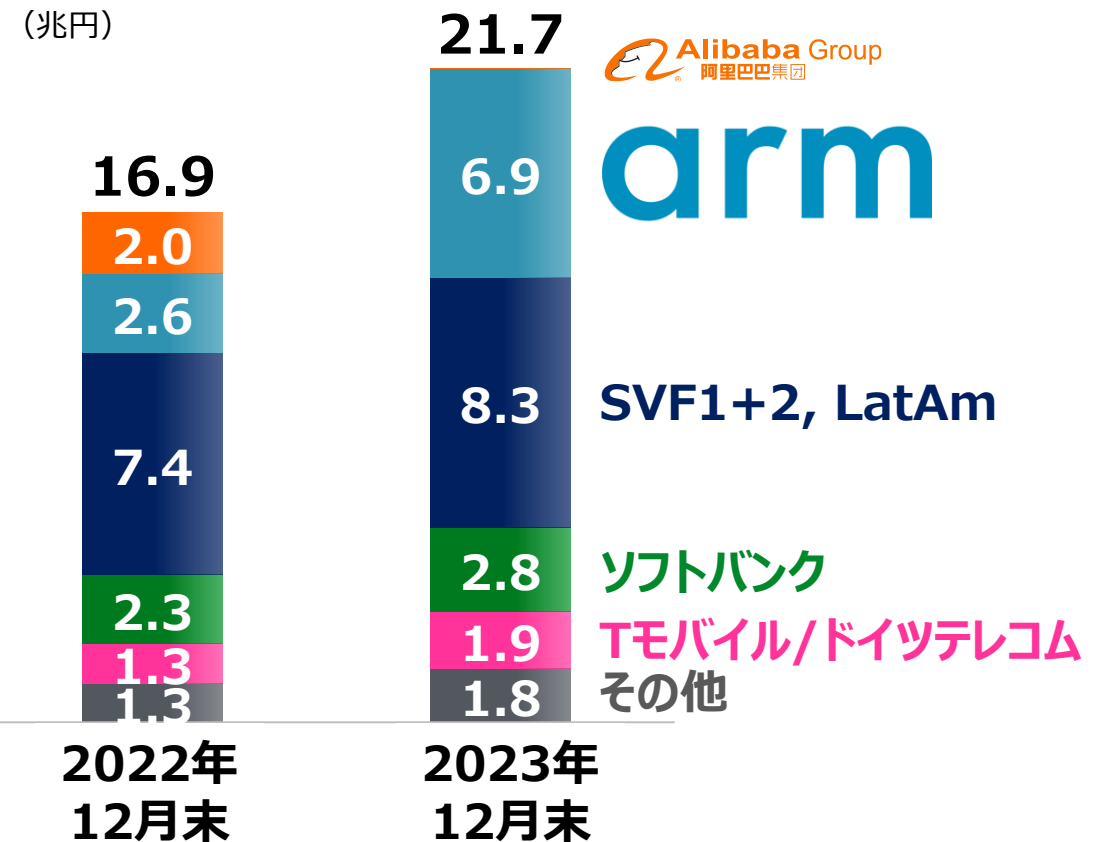
# 2023年実績

あらゆるシナリオを想定した安全な財務運営方針のもと、LTVを低位にコントロール  
 保有株式価値はArmを中心に大幅増

## LTVの推移\*1



## 保有株式価値



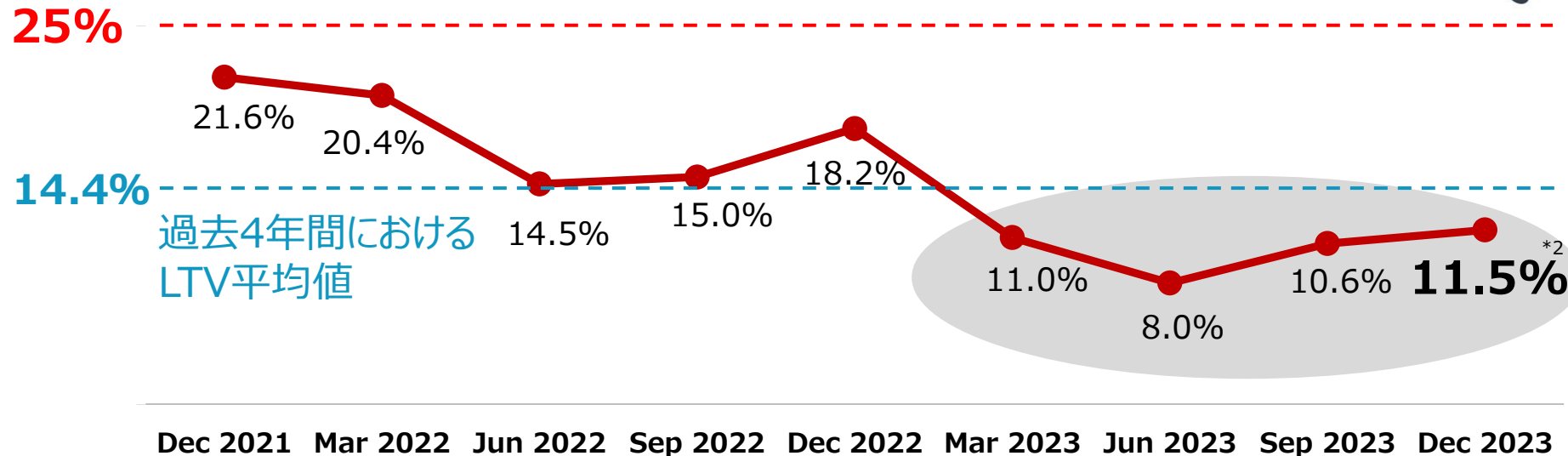
\*1 各四半期末時点の数値を記載

\*2 LTVおよび保有株式価値の詳細は、各四半期決算投資家向け説明会プレゼンテーション資料 財務編Appendixを参照

# LTVの推移\*1

市場環境に応じた「守り」の財務運営により、豊富な財務余力を確保  
 今後は成長投資に向けレバレッジ有効活用のフェーズへ

## 攻守兼備の財務へ



2023年  
守りの水準

\*1 各四半期末時点の数値を記載

\*2 詳細は、Appendix「LTVの算出：SBG単体 保有株式価値」および「LTVの算出：SBG単体 純有利子負債」を参照

**1**

**通常時 LTV25%未満 で運用 (異常時でも上限35%)**

**2**

**少なくとも 2年分の社債償還資金 を保持**

**3**

**SVFや子会社から 継続的な配当収入 を確保**

投資先の財務は  
独立採算

救済投資は  
行わない

財務方針の堅持

「守り」「攻め」  
両面に対応  
できる財務運営

更なるダウンサイド  
にも耐える「守り」

財務の安全性を  
維持しつつ  
情報革命を牽引する  
投資は実行

通常時 LTV25%未満で運用  
(2023年12月末 LTV=11.5%)

少なくとも2年分の社債償還資金を保持  
(2023年12月末 手元流動性=4.4兆円)



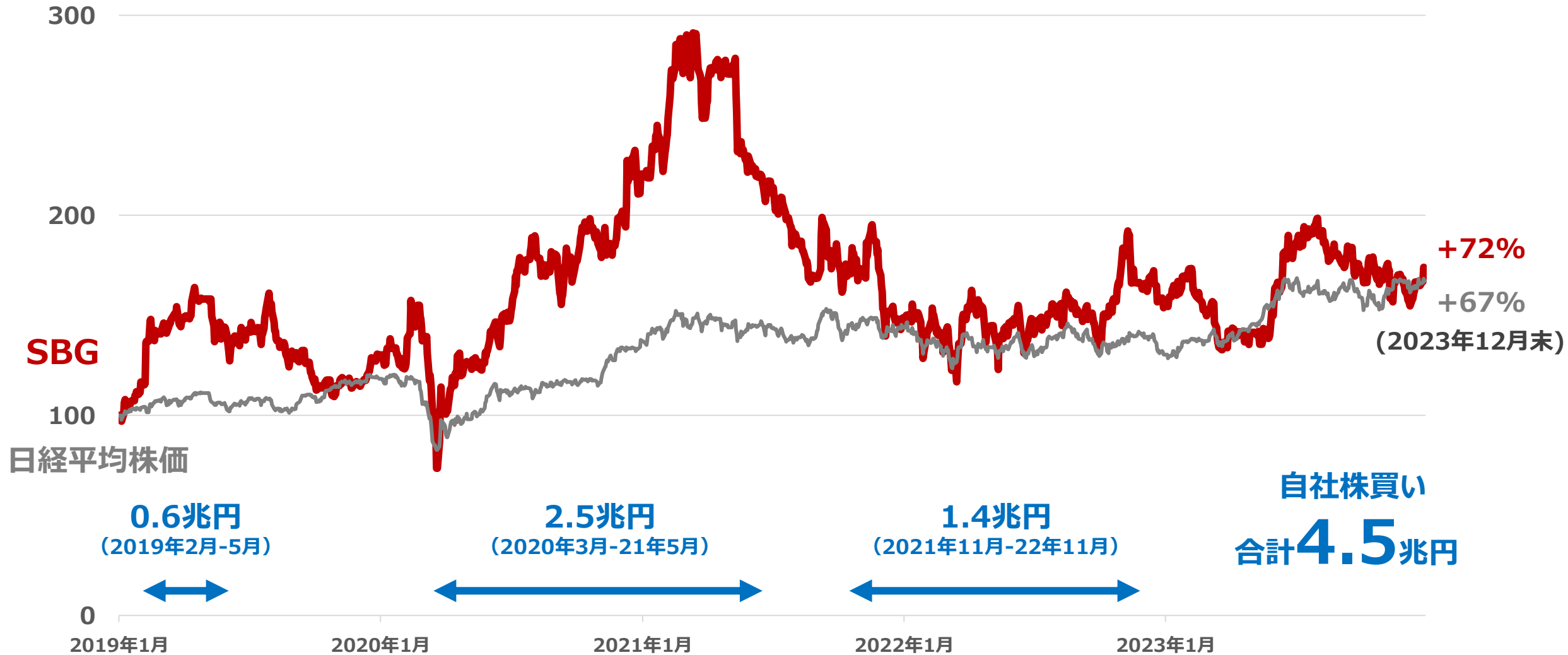
## バランスを常に考慮

\* NAVディスカウント水準も考慮事項





# 自社株買いと株価 (SBG vs 日経平均株価)



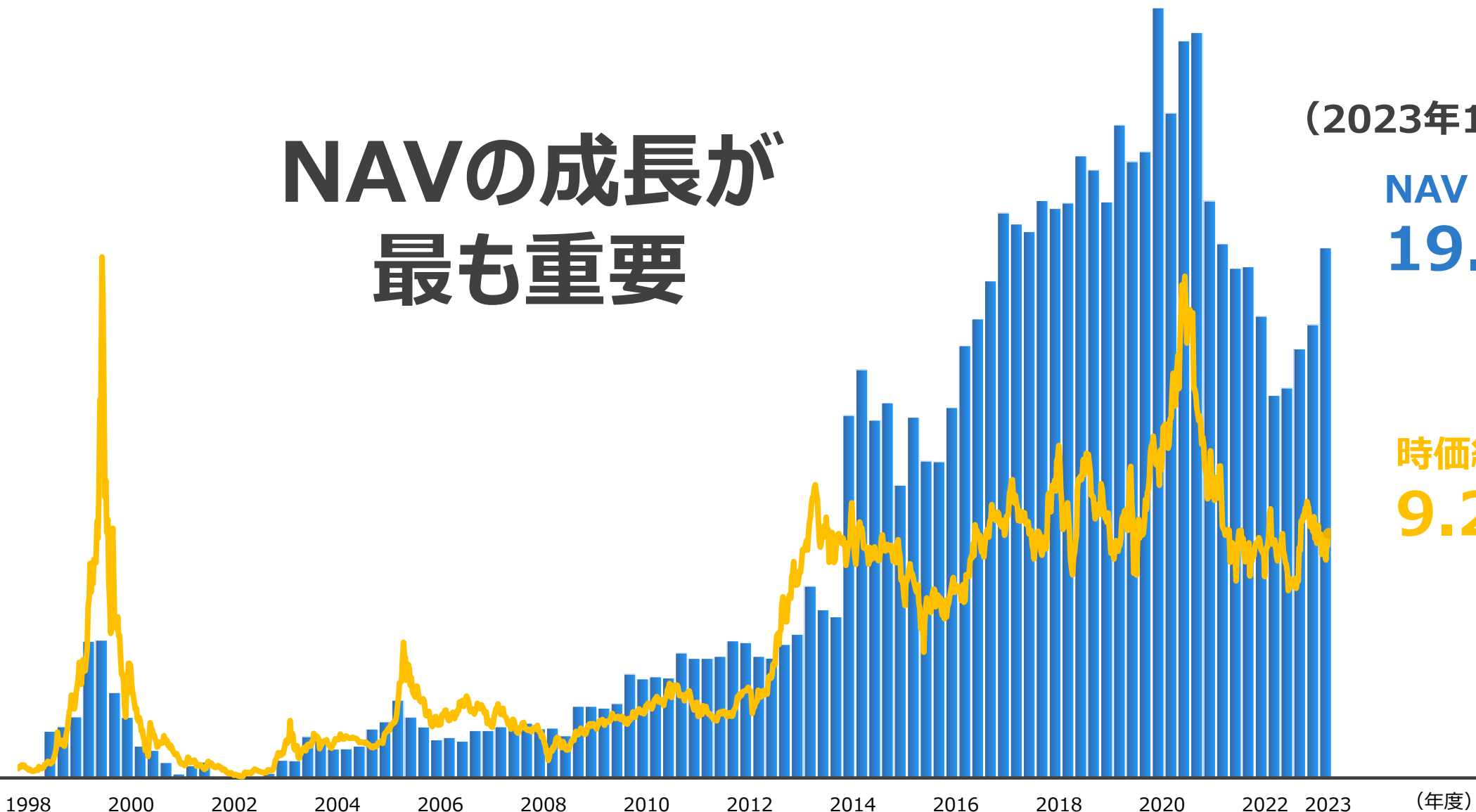
(注)  
 2019年1月1日を100として指数化  
 自社株買い：以下の各取締役会決議に基づく  
 2019年2月6日、2020年3月13日、5月15日、6月25日、7月30日、2021年11月8日、2022年8月8日

## NAVの成長が 最も重要

(2023年12月末)

NAV  
19.2兆円

時価総額  
9.2兆円



(注) 各四半期末時点。NAVに関する情報は、推移のイメージを説明する目的で提供される参考値であり、将来のNAVを保証・示唆するものではない。時価総額は自己株式を除く発行済株式総数を基に算出

# いま何をすべきか？

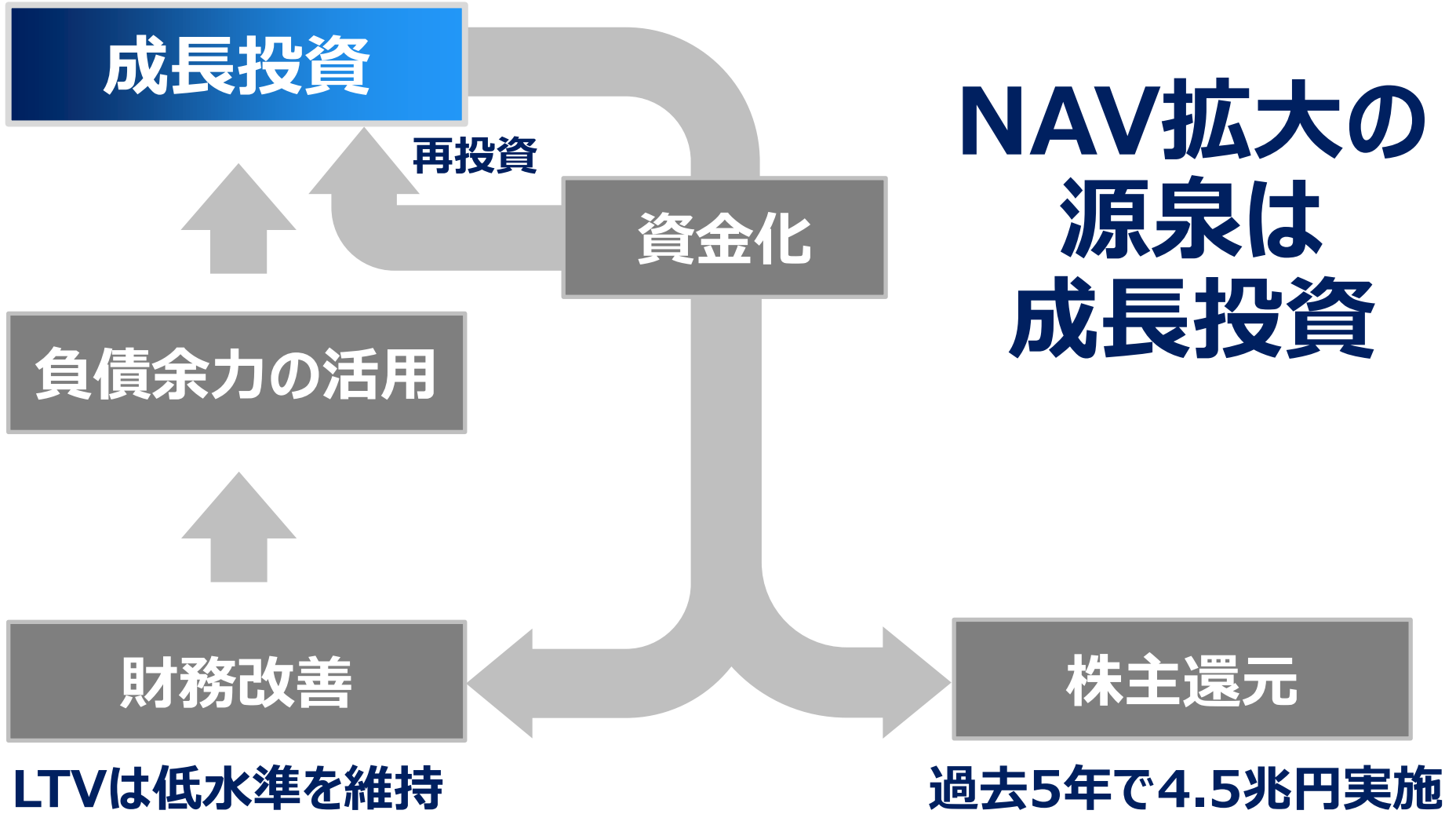
## 手元流動性

4.4兆円



Q3

2023年度



NAV拡大の  
源泉は  
成長投資

LTVは低水準を維持

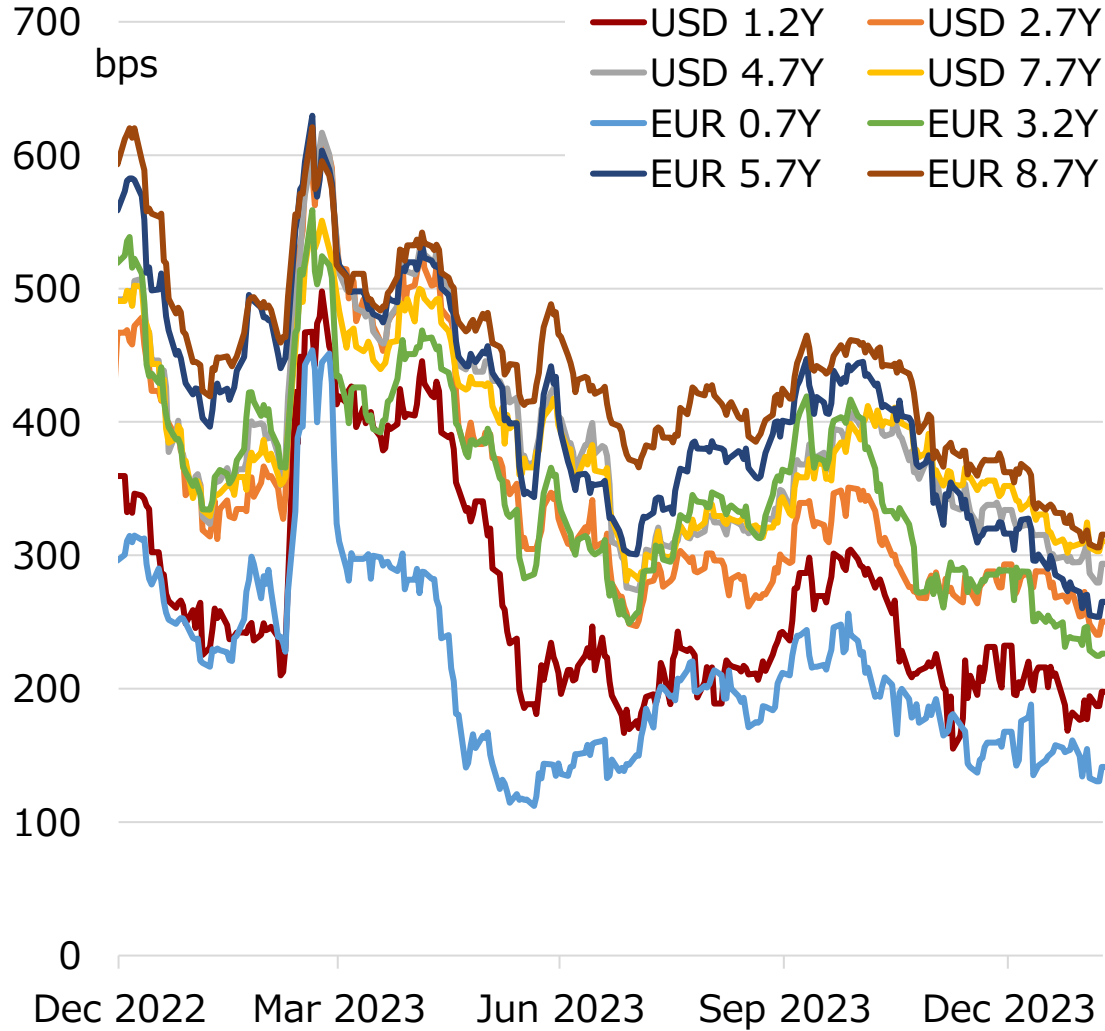
過去5年で4.5兆円実施

(注) 手元流動性 = 現金及び現金同等物 + 流動資産に含まれる短期投資 + 債券投資 + コミットメントライン未使用枠。SBG単体ベース (SB Northstarを除く。ただし現金及び現金同等物ならびに債券投資は含む。)

株主還元：以下の各取締役会決議に基づく自社株買い  
2019年2月6日、2020年3月13日、5月15日、6月25日、7月30日、2021年11月8日、2022年8月8日

# Appendix

## SBG シニア外債スプレッド

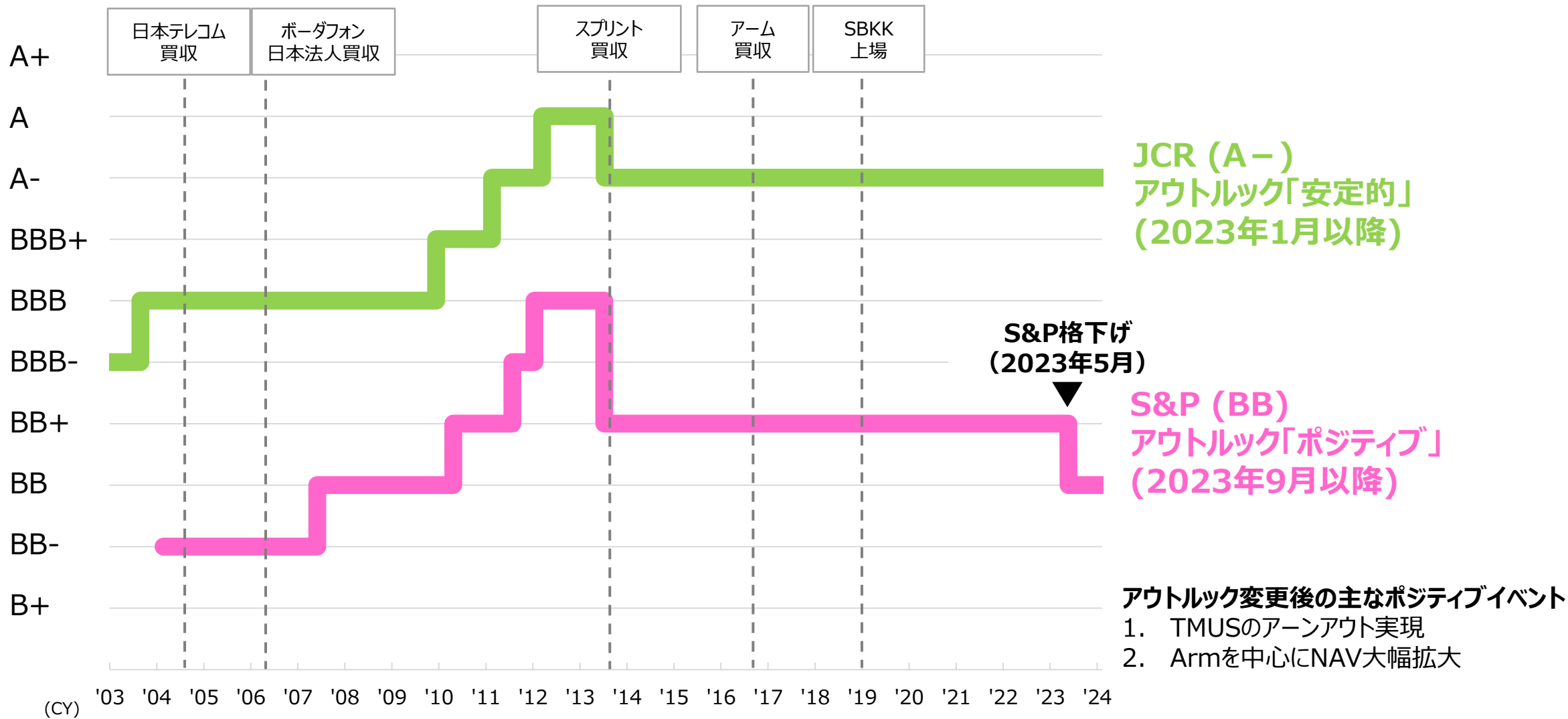


## SBG 5年CDS



(注) 2024年2月7日時点。BloombergおよびCapital IQを基に当社作成。2021年7月発行のシニア外債のZスプレッドを参照

# SBGの格付推移



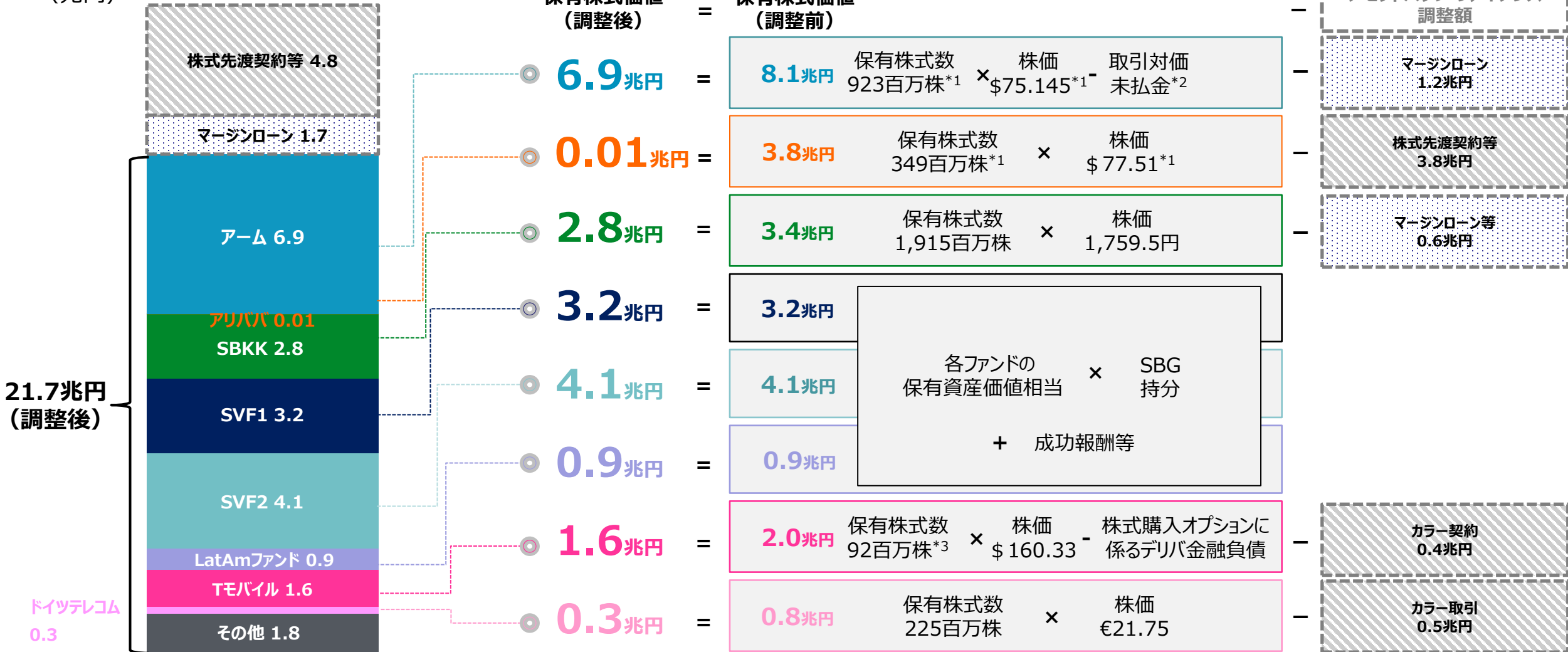
(注) 2024年2月8日時点

# 2023年12月末：保有株式価値（算出方法）

1USD=141.83円

28.2兆円  
(調整前)

(兆円)



Dec 2023

(注) 各計算式の詳細は、Appendix「LTVの算出：SBG単体 保有株式価値 詳細」および「LTVの算出：SBG単体 純有利子負債 詳細」を参照  
 \*1 SBGの保有株式数に相当する米国預託証券数および同証券の株価 \*2 SVF1からのArm株式買取に伴う未払金120億米ドル (1.71兆円相当)  
 \*3 ドイツテレコムが保有する株式購入オプションの対象となる株式数(34,971,809株)を含む。

# LTVの算出：SBG単体 保有株式価値

(L) 調整後 SBG単体 純有利子負債

2.49兆円

= 11.5%

(V) 調整後  
SBG単体 保有株式価値\*1

21.72兆円



アリババ	+3.84	SBKK	+3.37	Tモバイル	+2.03	SVF1	+3.25
アセットバック・ファイナンス	-3.83	アセットバック・ファイナンス	-0.57	アセットバック・ファイナンス	-0.41	SVF2	+4.14
<b>アリババ (調整後)</b>	<b>+0.01</b>	<b>SBKK (調整後)</b>	<b>+2.80</b>	<b>Tモバイル (調整後)</b>	<b>+1.62</b>	LatAmファンド <sup>〃</sup>	+0.91
		アーム	+9.83				
		アーム取引対価未払金	-1.71				
ドイツテレコム	+0.77	アーム (調整前)	+8.13				
アセットバック・ファイナンス	-0.48	アセットバック・ファイナンス	-1.19				
<b>ドイツテレコム (調整後)</b>	<b>+0.29</b>	<b>アーム (調整後)</b>	<b>+6.93</b>				

(注) 2023年12月末時点

\*1 調整後SBG単体保有株式価値の各アセット別の詳細は、Appendix「LTVの算出：SBG単体 保有株式価値 詳細」を参照



# LTVの算出：SBG単体 保有株式価値 詳細①

(兆円)

保有株式	金額	計算方法
<b>(a) アリババ</b>	<b>0.01</b>	
調整前	3.84	SBGの保有株式数に相当する米国預託証券数×同証券の株価
アセットバック・ファイナンス調整	-3.83	複数の株式先渡し買契約（フロア契約・カラー契約・フォワード契約・コールスプレッド）のうち、未決済分の満期決済金額（2023年12月31日の同社株価（米国預託証券）で算出）の合計額（3兆8,302億円）
<b>(b) SBKK</b>	<b>2.80</b>	
調整前	3.37	SBGの保有株式数×同社株価
アセットバック・ファイナンス調整	-0.57	SBKK株式を活用したマージンローン負債残高相当額等（5,671億円）
<b>(c) SVF1</b>	<b>3.25</b>	SVF1の保有資産価値相当に対するSBGの持分 + 成功報酬の見込み金額等
<b>(d) SVF2</b>	<b>4.14</b>	SVF2の保有資産価値相当に対するSBGの持分等
<b>(e) LatAmファンド</b>	<b>0.91</b>	LatAmファンドの保有資産価値相当に対するSBGの持分+成功報酬の見込み金額
<b>(f) アーム</b>	<b>6.93</b>	
アセットバック・ファイナンス調整およびアーム取引対価未払金控除前	9.83	SBGの保有株式数×同社株価
アーム取引対価未払金	-1.71	SVF1からのArm株式取得に伴う未払金（120億米ドル）
アセットバック・ファイナンス調整前	8.13	SBGの保有株式数×同社株価 - SVF1からのArm株式取得に伴う未払金（120億米ドル）
アセットバック・ファイナンス調整	-1.19	SBGが保有する同社株式を活用したマージンローンによる借入の負債残高相当額（1兆1,941億円）

(注) 2023年12月末時点

# LTVの算出：SBG単体 保有株式価値 詳細②

(兆円)

保有株式	金額	計算方法
<b>(g) Tモバイル</b>	<b>1.62</b>	
調整前	2.03	SBGの保有株式数（2023年12月末時点：92,089,766株） （ドイツテレコムが保有する株式購入オプションの対象となる株式数 （2023年12月末時点：34,971,809株）を含む）×同社株価 -ドイツテレコムが保有する未行使の株式購入オプションに係るデリバティブ金融負債
アセットバック・ファイナンス調整	-0.41	下記のアセットバック・ファイナンスの決済に必要な金額を控除 ・Tモバイル株式を活用した株式先渡売買契約（カラー契約）の満期決済金額（同社株価で算出） （4,280億円）
<b>(h) ドイツテレコム</b>	<b>0.29</b>	
調整前	0.77	SBGの保有株式数×同社株価
アセットバック・ファイナンス調整	-0.48	2021年10月に実行した同社株式を活用したカラー取引の満期決済金額（4,780億円）
<b>(i) その他*1</b>	<b>1.77</b>	上場株式：SBGの保有株式数×各上場株式の株価 非上場株式：SBGが保有する未上場株式等の公正価値（公正価値で測定していない株式等はSBGのBS上の簿価）に基づいて算出 SB Northstar（上場株投資）：SB NorthstarのNAVに対するSBGの持分+SBGが保有するNVIDIA Corporation株式数×同社株価
<b>SBG単体 調整後保有株式価値</b>	<b>21.72</b>	<b>財務編P38からの(a)～(i)までの合計額</b>

(注) 2023年12月末時点

\*1 SB Northstarの現金及び現金同等物、債券投資、一部の有利子負債（マージンローンおよびプライムブローカレッジローンを除く）はSBG単体純有利子負債の一部と見なし、SB NorthstarのNAVの算出には含めない。  
（同社のマージンローンおよびプライムブローカレッジローンの残高は、2023年12月末においていずれもゼロ）

# LTVの算出：SBG単体 純有利子負債

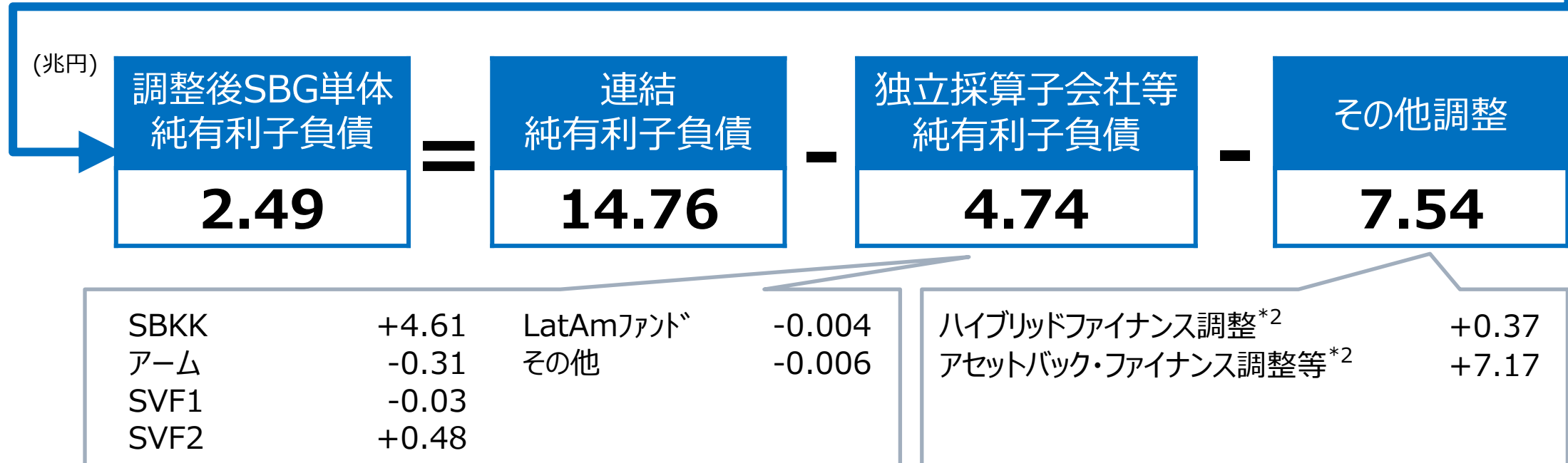
(L) 調整後  
SBG単体 純有利子負債\*1

2.49兆円

= 11.5%

(V) 調整後SBG単体 保有株式価値

21.72兆円



(注) 2023年12月末時点

\*1 各事業の純有利子負債はSBG連結外部に対する有利子負債のみ。PayPay銀行の「銀行業の預金－手元流動性」は含まない。

\*2 詳細は、Appendix「LTVの算出：SBG単体 純有利子負債 詳細」を参照

# LTVの算出：SBG単体 純有利子負債 詳細

(兆円)

SBG単体 調整前純有利子負債		10.02	連結純有利子負債 - 独立採算子会社等 <sup>*1</sup> の純有利子負債
ハイブリッドファイナンス調整	-0.37		ハイブリッド債およびハイブリッドローンについて、期限付きのものは連結会計上、全額が有利子負債に計上されるため50%を有利子負債から控除、永久債については連結会計上、全額が資本計上されているため50%を有利子負債に算入。
アセットバック・ファイナンス調整等	-7.17		
アリババ	-4.53		アリババ株式を活用した複数の株式先渡売買契約（フロア契約・カラー契約・フォワード契約）に係る株式先渡契約金融負債（4兆5,332億円）
アーム	-1.19		同社株式を活用したマージンローンによる借入の負債残高相当額（1兆1,941億円）
Tモバイル	-0.40		Tモバイル株式を活用した株式先渡売買契約（カラー契約）に係る株式先渡契約金融負債（4,035億円）
ドイツテレコム	-0.48		2021年10月に実行したドイツテレコム株式を活用したカラー取引に係る負債残高相当額（4,769億円）
SBKK	-0.56		SBKK株式を活用したマージンローン負債残高相当額等（5,622億円）
SBG単体 調整後純有利子負債		2.49	

(注) 2023年12月末時点

・ 純有利子負債 = 有利子負債 - 手元流動性

・ 手元流動性 = 現金及び現金同等物 + 流動資産に含まれる短期投資 + 債券投資

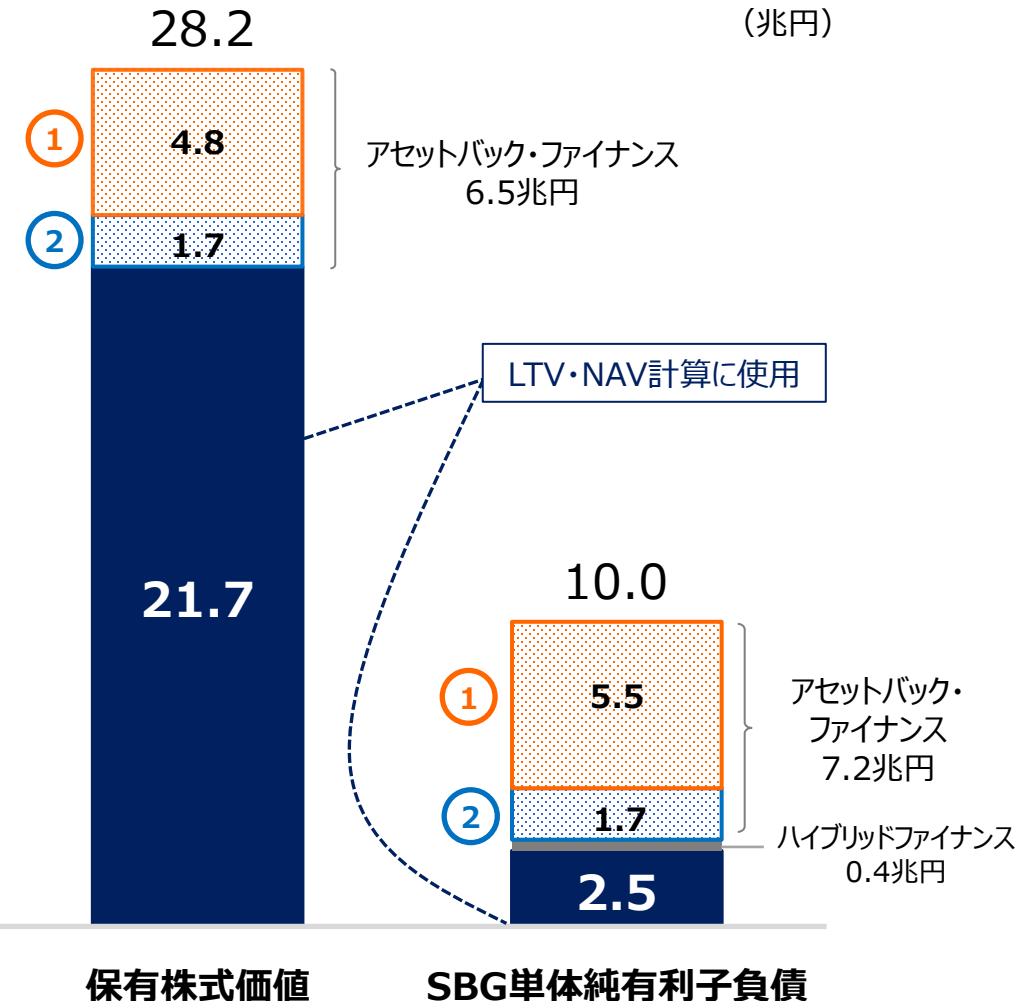
\*1 独立採算子会社等はSB Northstarを含む。ただし、SB Northstarの現金及び現金同等物、債券投資、一部の有利子負債（マージンローンおよびプライムブローカレッジローンを除く）はSBG単体純有利子負債に含める。

（同社のマージンローンおよびプライムブローカレッジローンの残高は、2023年12月末においていずれもゼロ）

# LTV・NAV計算におけるアセットバック・ファイナンス調整

ノンリコースのアセットバック・ファイナンスはデットから控除  
同時に、決済に必要なアセット価値をアセットから控除

	① フォワード／カラー／プット	② マージンローン
主な対象株式	アリババ	SBKK／アーム
内容	株式先渡契約 <sup>*1</sup> に基づく資金調達 (SBGにノンリコース)	株式を担保に借入を行う資金調達 (SBGにノンリコース)
デット控除額	<ul style="list-style-type: none"> <li>・バランスシート計上金額</li> <li>・株価に関係なく不変</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・バランスシート計上金額</li> <li>・株価に関係なく不変</li> </ul>
アセット控除額	<ul style="list-style-type: none"> <li>・期末株価を基に算出した満期決済金額の想定額</li> <li>・株価水準によって変動</li> </ul>	返済に必要なアセット相当額 (バランスシート上のデット計上額)
株価下落の影響	<ul style="list-style-type: none"> <li>・フロア価格を下回る株価では受渡金額が減少</li> <li>・追加担保等や期限前返済は不要</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・一定の株価水準を下回る場合、追加担保や期限前返済が必要</li> <li>・返済金額は不変</li> </ul>



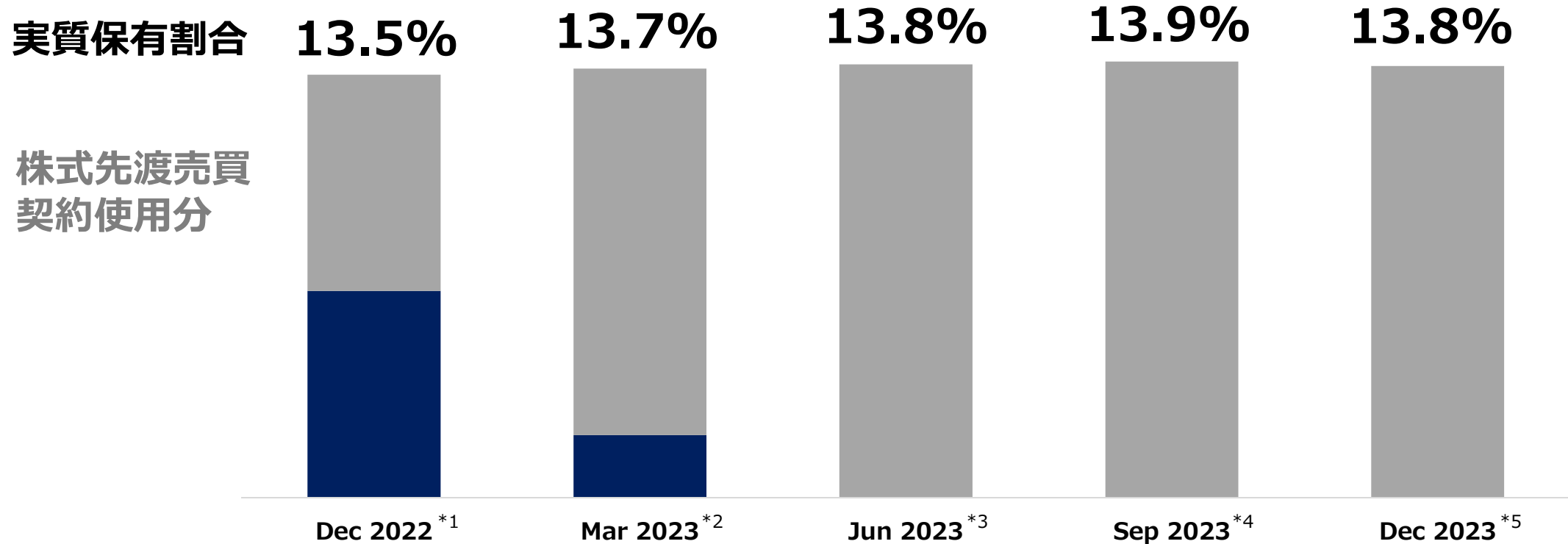
(注) 2023年12月末時点  
\*1 あらかじめ合意された価格 (フォワード) または価格レンジ (カラー・プット) で満期に対象株式を売買する契約を締結する。

# フォワード取引、カラー取引

<p><b>目的</b></p>	<p>デリバティブを活用したノンリコースの資金調達</p>
<p><b>概要</b></p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 将来時点で、当初合意した価格もしくはレンジで決済する取引</li> <li>• 株式担保とそれを参照するデリバティブを見合いに資金調達</li> <li>• 原則、満期において現金と株式による決済のいずれも選択可</li> <li>• 株価下落で満期時の決済金額が減少、株価上昇で増加する</li> </ul>
<p><b>フォワード取引</b></p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 担保株式を、あらかじめ合意した先渡価格で決済</li> <li>• 決済価格は、担保株式の株価変動にかかわらず固定。よって将来の株価上昇によるアップサイドは享受できない</li> </ul>
<p><b>カラー取引</b></p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 担保株式を、あらかじめ合意した価格レンジで決済</li> <li>• 株価下落時でも、価格レンジ下限で決済可。他方、株価上昇によるアップサイドは価格レンジ上限に限定</li> </ul>

# アリババ株式の実質保有割合推移

## 株式先渡売買契約により資金化完了



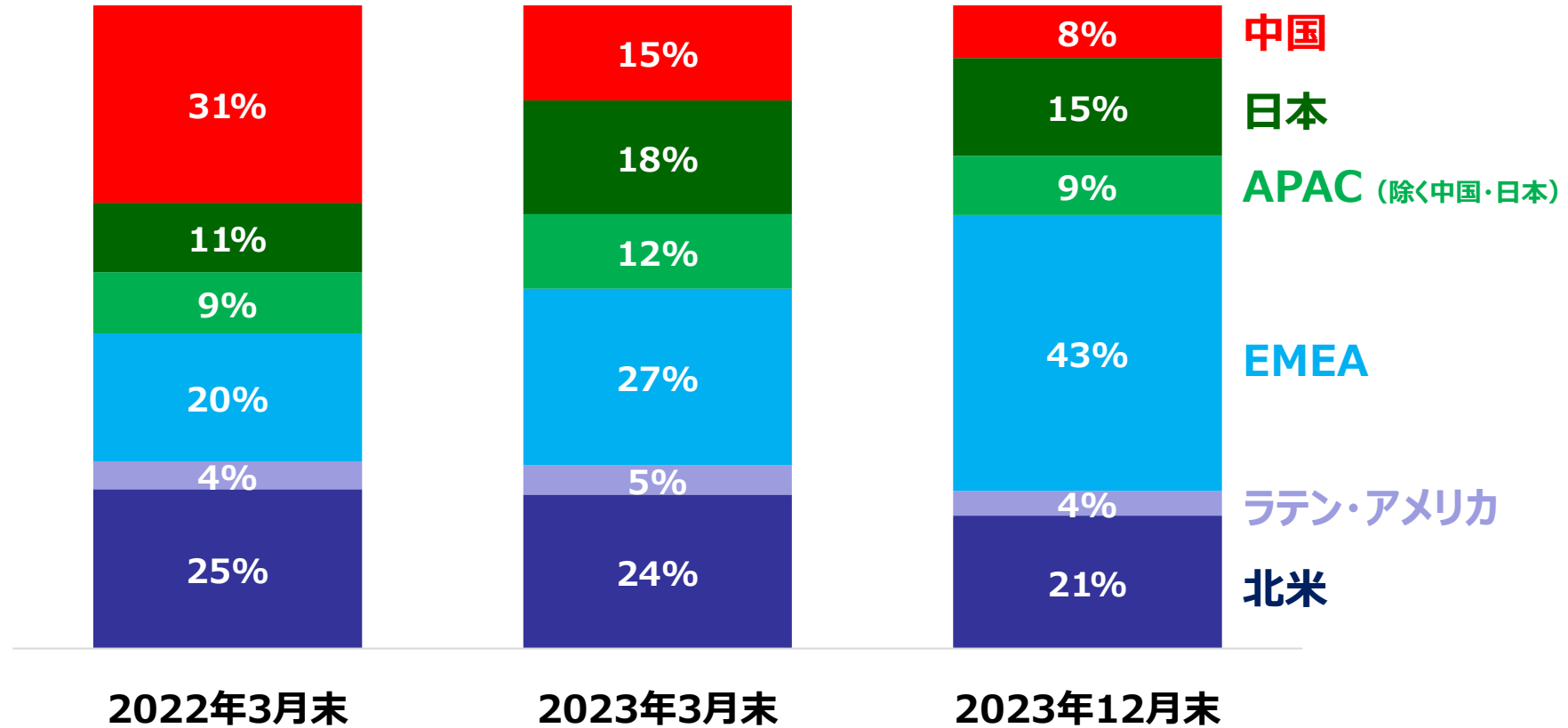
\*1 2022年9月末の同社発行済普通株式総数（自己株式を除く）に基づき算出  
 \*2 2022年12月末の同社発行済普通株式総数（自己株式を除く）20,680,409,344株に基づき算出  
 \*3 2023年3月末の同社発行済普通株式総数（自己株式を除く）に基づき算出  
 \*4 2023年6月末の同社発行済普通株式総数（自己株式を除く）に基づき算出  
 \*5 2023年9月末の同社発行済普通株式総数（自己株式を除く）に基づき算出

# ポートフォリオの地域分散

## 中国株式の割合が大幅に減少

## Armの価値増によりEMEAの割合が大幅に増加

アセットバック・ファイナンス除く



(注) 各投資先の本社所在地に基づき地域を分類

中国：アリババ、SVF1・SVF2（中国相当）およびその他の中国投資の合計、日本：ソフトバンク、SVF1・SVF2(日本相当)およびその他の日本投資の合計

APAC（除く中国・日本）：SVF1・SVF2（中国・日本を除くAPAC相当）およびその他の中国・日本を除くAPAC投資の合計

EMEA：アーム、ドイツテレコム、SVF1・SVF2（EMEA相当）およびその他のEMEA投資等の合計、ラテンアメリカ：LatAmファンド、SVF1(ラテンアメリカ相当)およびその他のラテンアメリカ投資の合計

北米：Tモバイル、SVF1・SVF2（北米相当）およびその他の北米投資の合計



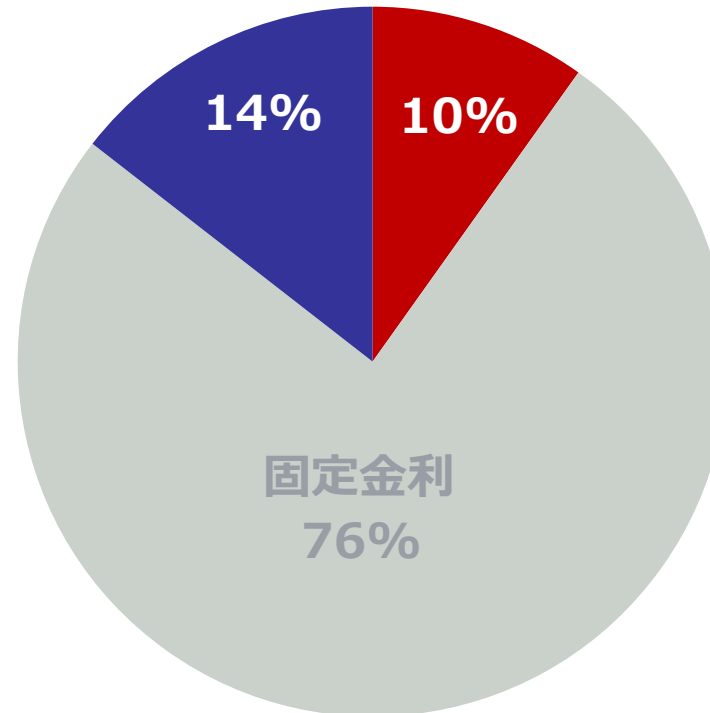
# 有利子負債の固定・変動比率

短期的な金利上昇による利払急増のリスクなし

## SBG単体有利子負債\*1における固定・変動比率

### ドル変動

金利1ポイント上昇で  
\$0.1B支払利息増\*2  
< \$0.2B受取利息増\*3



### 円変動\*4

金利1ポイント上昇で  
82億円利払増\*5

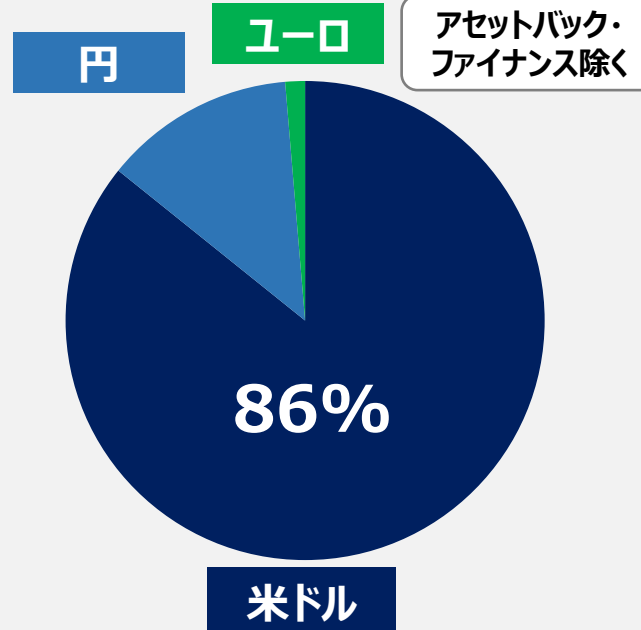
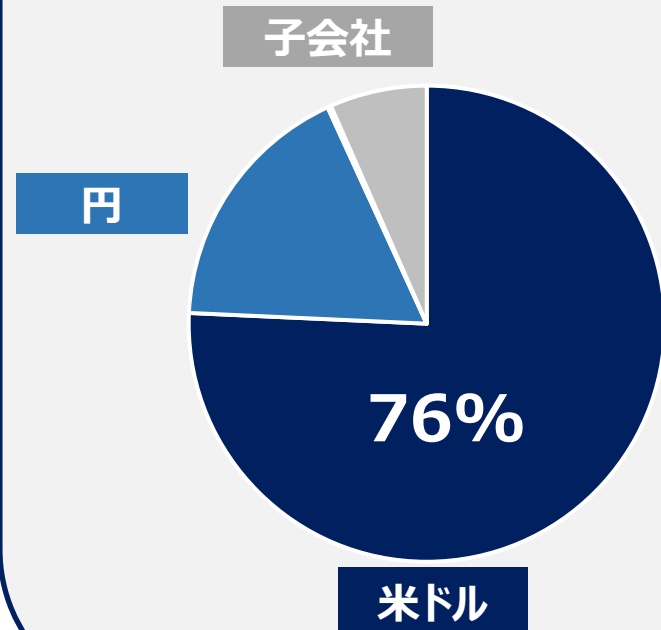
\*1 2023年12月末時点のSBGおよび資金調達を行う子会社における有利子負債残高（含むマージンローン、除く株式先渡契約）  
 \*2 ドル変動利付負債（2023年12月末残高：85億米ドル（額面ベース））にかかる12か月の利払増額（推計）  
 \*3 米ドル預金+MMF投資にかかる12か月の受取増額（推計）  
 \*4 含むCP残高  
 \*5 円変動利付負債（2023年12月末残高：8,201億円（額面ベース））にかかる12か月の利払増額（推計）

## 投資と資金化のフローは大半がドルベース、負債は原則同通貨でのリファイナンスを想定

### 投資と資金化

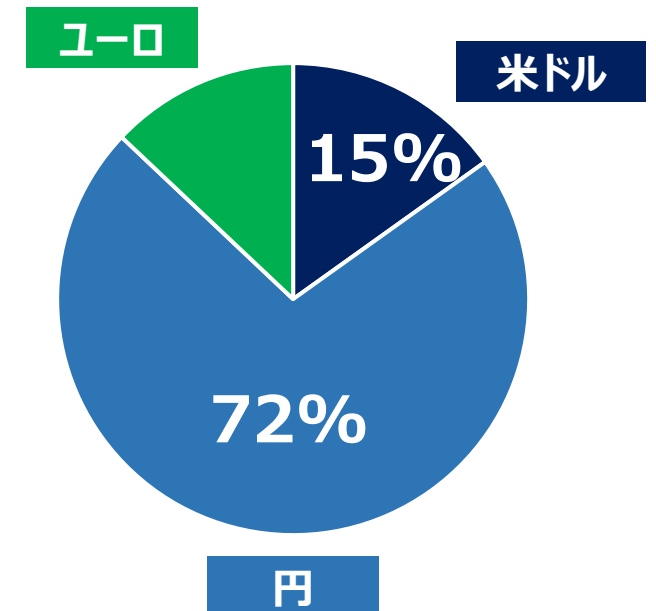
手元流動性：3.7兆円\*1

保有株式価値：21.7兆円\*2



### 負債構成

有利子負債\*3：6.5兆円



(注) 2023年12月末時点。1ドル=141.83円、1ユーロ=157.12円を前提に、円建て換算

\*1 手元流動性=現金及び現金同等物+流動資産に含まれる短期投資+債券投資。SBG単体ベース（SB Northstarを除く。ただし現金及び現金同等物並びに債券投資は含む。）

\*2 SBG単体保有株式価値。詳細は、Appendix「LTVの算出：SBG単体保有株式価値」を参照

\*3 2023年12月末時点のSBG単体有利子負債（ノンコースの有利子負債及び子会社有利子負債における「その他」を除く）

# 連結：有利子負債、手元流動性、純有利子負債

連結有利子負債\*1

(単位:億円)

	Dec 2022	Mar 2023	Jun 2023	Sep 2023	Dec 2023
<b>SBG単体</b>	112,500	126,917	140,833	<b>143,358</b>	<b>137,657</b>
うち、SB Northstar	-	-	-	-	-
<b>SVF1&amp;2、LatAmファンド</b>	13,199	13,227	14,199	<b>5,422</b>	<b>5,132</b>
<b>ソフトバンク事業</b>	62,096	61,347	62,406	<b>63,260</b>	<b>64,719</b>
<b>その他（アーム等）</b>	1,652	1,661	1,646	<b>1,898</b>	<b>1,839</b>
<b>合計</b>	189,448	203,152	219,085	<b>213,937</b>	<b>209,347</b>

連結手元流動性\*2

(単位:億円)

	Dec 2022	Mar 2023	Jun 2023	Sep 2023	Dec 2023
<b>SBG単体</b>	31,734	45,284	51,713	<b>43,976</b>	<b>37,711</b>
うち、SB Northstar	356	419	296	<b>406</b>	<b>287</b>
<b>SVF1&amp;2、LatAmファンド</b>	1,026	1,120	1,129	<b>796</b>	<b>657</b>
<b>ソフトバンク事業</b>	18,254	17,022	15,348	<b>17,833</b>	<b>18,650</b>
<b>その他（アーム等）</b>	3,661	3,830	3,888	<b>4,510</b>	<b>4,693</b>
<b>合計</b>	54,675	67,255	72,077	<b>67,115</b>	<b>61,710</b>

連結純有利子負債\*3

(単位:億円)

	Dec 2022	Mar 2023	Jun 2023	Sep 2023	Dec 2023
<b>SBG単体</b>	80,766	81,633	89,120	<b>99,381</b>	<b>99,946</b>
うち、SB Northstar	-356	-419	-296	<b>-406</b>	<b>-287</b>
<b>SVF1&amp;2、LatAmファンド</b>	12,174	12,107	13,070	<b>4,626</b>	<b>4,476</b>
<b>ソフトバンク事業</b>	43,842	44,325	47,058	<b>45,427</b>	<b>46,069</b>
<b>その他（アーム等）</b>	-2,009	-2,168	-2,241	<b>-2,612</b>	<b>-2,854</b>
<b>合計</b>	134,773	135,897	147,007	<b>146,822</b>	<b>147,637</b>

\*1 SBG連結外部に対する有利子負債およびリース負債の合計。PayPay銀行の銀行業の預金は含まない。

\*2 手元流動性 = 現金及び現金同等物 + 流動資産に含まれる短期投資 + 債券投資。2023年9月末以降の手元流動性に債券投資が含まれるが、2023年9月末は国債投資のみ。PayPay銀行の手元流動性は含まず、SB Northstarの現金及び現金同等物（2023年6月末以降）、債券投資（2023年12月末以降）を含む。

\*3 PayPay銀行の「銀行業の預金 - 手元流動性」は含まない。マイナス表記はネットキャッシュ